

栃木県立博物館

年 報

平成29年度（第36号）

CONTENTS

I 事業の概要

- 1 調査研究 1
- 2 博物館資料の収集 6
- 3 館蔵資料の貸し付け 8
- 4 企画展16
- 5 収蔵資料活用促進展示17
- 6 テーマ展17
- 7 各種連携事業19
- 8 普及教育事業実施状況34
- 9 平成29年度 栃木県立博物館 催し物一覧47

II 諸統計

- 1 平成29年度入館者統計49
- 2 アンケート調査による入館者の実態55

III 予 算

- 1 平成29年度歳入状況58
- 2 平成29年度歳出予算59

IV 組織・事務分掌

- 1 平成29年度栃木県立博物館の組織図60
- 2 栃木県立博物館協議会委員名簿61
- 3 栃木県立博物館調査研究協力員名簿61
- 4 栃木県立博物館ボランティア63

V 利用案内64

注) 会期及び期日の表記で年の記載のないものについては当該年度とする

I 事業の概要（平成29年度）

1 調査研究

分野	職名・担当・氏名	調査研究内容
歴史	学芸部長 歴史（中世）担当 江田 郁夫	<p>歴史（中世）担当として、各種のレファレンスに対応するとともに、担当部門の常設展示等の充実に努めた。また、開館35周年記念特別企画展「中世宇都宮氏一頼朝・尊氏・秀吉を支えた名族一」を担当し、同展関連行事等にも携わった。</p> <p>その他、研究会・講演会等では城下町科研北関東研究集会・関東地区博物館協会研究会等で報告を行ったほか、中世宇都宮氏や「鎌倉街道を学ぶ」「秀吉の知略！家康の戦略！」「信長が歓喜した東国の名馬」「中世の名族長沼氏の興亡」等に関する講演を実施した。</p> <p>調査研究では、「下野小山氏の本拠一鎌倉・南北朝時代の下野守護所を中心に一」を執筆し、当館研究紀要第35号に掲載した。</p>

ー人文系ー

分野	職名・担当・氏名	調査研究内容
考古	主任研究員 考古担当 馬籠 和哉	<p>展示では、テーマ展「巡回展栃木の遺跡」、地域移動博物館「埴輪と鏡」（市貝町立歴史民俗資料館）を担当した。開館35周年記念特別企画展「中世宇都宮氏一頼朝・尊氏・秀吉を支えた名族一」では、市町連携事業のうち「関連市町史跡特別展示」の展示、関連市町による物販コーナー・情報展示コーナー・スタンプラリー、史跡紹介「中世宇都宮氏の興亡のあとをさぐる」を担当し、各市町担当者との連絡調整を行った。</p> <p>一般の方々や研究機関からの各種レファレンスに対応した。また、常設展示の充実に努め、一部展示替えや解説文の更新などを行った。</p> <p>普及活動としては、とちぎ子ども未来創造大学での特別講座「君も考古学者」「考古学でモノづくり」、文化財観覧ガイド養成講座（下野市教育委員会主催）「中世の下野市」を行った。栃木市での「国庁まつり」に参加し、「木簡体験」を実施した。</p> <p>調査研究では、「中世山間地形村落構造の検討一地名「堀の内」を中心に一」を当館研究紀要第35号に掲載した。</p>
	学芸嘱託員 考古担当 中山 真理	<p>展示では、テーマ展「巡回展栃木の遺跡」、市町連携事業地域移動博物館「埴輪と鏡」（市貝町歴史民俗資料館）を担当した。また、開館35周年記念特別企画展「中世宇都宮氏一頼朝・尊氏・秀吉を支えた名族一」の中で、「関連市町史跡特別展示」、関連事業として「中世宇都宮氏の興亡のあとをさぐる」の講演会等の補助を行った。</p> <p>普及事業では、栃木市「国庁まつり」にて木簡体験を行った。</p> <p>調査研究では、下野市教育委員会の協力の下、下野市下石橋愛宕塚古墳出土須恵器甕の復元作業を行い、資料紹介として「下石橋愛宕塚古墳出土須恵器大甕」を執筆し、当館研究紀要第35号に掲載した。</p>
歴史	主任 歴史（中世）担当 山本 享史	<p>歴史（中世）担当として、一般の方々や研究機関からの各種レファレンスに対応した。また、担当部門の常設展示の充実に努めた。</p> <p>開館35周年記念特別企画展「中世宇都宮氏一頼朝・尊氏・秀吉を支えた名族一」では担当の一人として資料調査や展示作業に携わった。展示図録では資料解説のほか、コラム「宇都宮氏による東大寺への作善」「一大ネットワークとしての宇都宮歌壇」を執筆した。関連行事として、学芸員とっておき見どころ解説を行った。</p> <p>また、テーマ展「藤原秀郷と那須与一伝説の武将の実像に迫る一」を担当し、資料調査や展示作業に携わった。関連行事として、学芸員とっておき講座や展示解説を行った。</p> <p>調査研究としては、平成30年度秋企画展「藤原秀郷一源平と並ぶ名門武士団の成立一」開催に向け、各地で資料調査等を行った。</p>

分野	職名・担当・氏名	調査研究内容
歴 史	主任研究員 歴史（近世）担当 飯塚 真史	<p>開館35周年記念特別企画展「中世宇都宮氏一頼朝・尊氏・秀吉を支えた名族一」を担当し、調査及び展示、図録の執筆を行った。</p> <p>普及教育事業としては、平成29年度西生涯学習センター主催講座「宇都宮再発見 宇都宮ゆかりの歴史街道」において「奥州街道・日光街道を学ぶ～人・物が行き交う近世 宇都宮の街道～」、平成29年度関東歴史教育研究協議会栃木大会において、「水運と蔵の街栃木」、那須烏山市ジオパーク構想教室において「近世下野国の水運について」などの講演を行った。</p> <p>調査研究としては、平成30年度秋季企画展「藤原秀郷一源平と並ぶ名門武士団の成立一」開催に向け、各地で資料調査を行った。</p>
	主任 歴史（近現代）担当 大越 惟弘	<p>歴史（近現代）担当として、一般の方々や研究機関からの各種レファレンスに対応した。また、担当部門の常設展示の充実に努めた。</p> <p>普及教育事業では、壬生町立歴史民俗資料館連携講座（第1回・第2回）において「近代日光の軌跡」「国際観光都市"N I K K O"を訪れた外国人」、および宇都宮市東生涯学習センター主催「ふれあい塾」において「明治初期の日光～国際的避暑地としての魅力～」の講演を行った。</p> <p>戦時中の資料や近代教育に関する資料などの寄贈資料を受入れ、その調査と整理を行った。</p> <p>調査研究では、平成30年度冬季テーマ展「下野国から栃木県へー栃木県を形作った人々ー」開催に向け、県内各地や山形県などで資料調査を行った。</p>
民 俗	学芸部長補佐兼 人文課長 民俗（有形）担当 篠崎 茂雄	<p>第117回企画展・とちぎ版文化プログラムリーディングプロジェクト事業「とちぎの山・鉾・屋台」を担当した。本県の「烏山の山あげ行事」と「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」が、ユネスコ無形文化遺産の代表一覧表に記載されたことを記念して実施したもので、それぞれの行事の歴史的な背景と現在の状況を資料や写真を通して紹介するとともに、「日光弥生祭付祭家体献備行事」、「宇都宮の天祭」、「とちぎの山車祭り」など本県各地で行われる「山・鉾・屋台行事」を概観した。また、会期中に関連行事としてオープニング講座、記念講演会、常磐津公演「将門」、鹿沼の囃子、鹿沼組子の体験、展示解説、学芸員としておき講座を実施した。</p> <p>テーマ展は、「栃木の山の暮らし」を担当し、狩猟、木杓子作り、炭焼など、本県山間部に暮らす人々の生業を紹介した。また、「地域回想法と博物館」、「おじいさんやあばあさんの子どものころの暮らし」を補佐した。</p> <p>さらに、平成30年度春に実施予定の企画展「とちぎの技・匠」に向けて、本県の伝統工芸品や（公財）日光社寺文化財保存会の調査を行うとともに、資料の借用交渉等を行った。</p> <p>普及教育事業は、宇都宮市や大田原市等で、伝統工芸、年中行事、民間信仰等に関する内容の講座を実施した。他に小山市からの依頼を受けて、国選択記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財「間々田のジャガマイタ」の調査を行い、調査研究報告書にまとめた。</p>
	研究員 民俗（無形）担当 木村 真理子	<p>第117回企画展・とちぎ版文化プログラムリーディングプロジェクト事業「とちぎの山・鉾・屋台」の副担当として第3章第1節と第4章第1節の歴史部分を担当、テーマ展「地域回想法と博物館」を主担当として実施した。また講座「栃木の民話語り」では企画展「とちぎの山・鉾・屋台」にあわせて「お祭りのお話」と「鹿沼・烏山の民話」をテーマに実施した。</p>

分野	職名・担当・氏名	調査研究内容
	学芸嘱託員 民俗担当 石井 和帆	<p>第117回企画展・とちぎ版文化プログラムリーディングプロジェクト事業「とちぎの山・鉾・屋台」では展示を補佐した。テーマ展「おじいさんやおばあさんの子どもころの暮らし」を主担当、「栃木の山の暮らし」を副担当として実施した。「おじいさんやおばあさんの子どもころの暮らし」では昭和初期から電化製品が家庭に登場する昭和40年代頃までの昔の生活を紹介した。「栃木の山の暮らし」では展示解説を行った。</p> <p>調査研究としては、第120回企画展「とちぎの技・匠」に向けた資料調査を行った。また、当館研究紀要第35号に「絵巻物にみる近世後期における職人の諸相―「日光山神宮重修図」に描かれた日光東照宮の修復―」を執筆した。ほかに、『下野民俗』51号（下野民俗研究会）に、「近代における鋳入れ行事の一考察―『風俗画報』に収録された挿絵の分析から―」を執筆した。</p>
美術	特別研究員 美術工芸担当 本田 諭	<p>開館35周年記念特別企画展「中世宇都宮氏―頼朝・尊氏・秀吉を支えた名族―」を担当し、資料調査・撮影・図録執筆・見どころ解説などを行った。展示では、主に宇都宮氏の信仰にかかわる美術作品を担当し、その展開を紹介した。また冬季テーマ展「谷文晁と関東の文人画」を副担当として実施した。</p> <p>調査研究としては、平成30年度テーマ展開催に向け、小泉斐と田谷芝齋に関する資料調査及び撮影を行った。また、県内各所で仏像・神像の調査を行い、中世をはじめとする多数の彫刻を確認した。</p> <p>また、文化庁主催の第10回指定文化財（美術工芸品）企画・展示セミナーや宇都宮大学地域連携教育研究センター主催の公開講座などで講師をつとめた。</p>
工芸	学芸嘱託員 美術工芸担当 深沢 麻亜沙	<p>開館35周年記念特別企画展「中世宇都宮氏―頼朝・尊氏・秀吉を支えた名族―」を担当し、資料調査・撮影・図録執筆・見どころ解説などを行った。また、テーマ展「谷文晁と関東の文人画」を主担当として実施し、会期中に関連講座および展示解説を行った。</p> <p>調査研究としては、平成30年度テーマ展「小泉斐の世界―鮎と風景と人物―」の開催に向けた事前調査および写真撮影の補助のほか、県内の美術資料について調査を行った。また、当館研究紀要第35号に「佐貫磨崖仏奥の院大悲窟出土の銅板曼荼羅について―下野における末法思想を背景とした石仏奉納の一遺例―」を執筆した。</p> <p>普及教育事業としては、鹿沼市北押原コミュニティセンターにおいて移動講座「日本の仏教美術について」を行った。</p>

－自然系－

分野	職名・担当・氏名	調査研究内容
地 学	主任研究員 岩石・鉱物担当 岡本 直人	<p>栃木県内の鉱山跡で調査や資料収集を行った。</p> <p>「わたしたちの生活と鉱物」などの地域移動博物館や出前授業、出前講座などを通して、鉱物が我々の生活にどのように利用されているかを紹介した。</p> <p>県版レッドデータブック改訂事業の一環として、県内の地質調査を行った。</p> <p>テーマ展「あつまれ！自然好き」を担当し、自然に関する活動団体の取り組みを紹介した。</p>
	主任 古生物担当 河野 重範	<p>第118回企画展「大集合！北関東の動植物化石」を担当し、北関東の大地の生い立ちとともに、この地域から発見されたさまざまな化石について紹介した。</p> <p>栃木県内外に分布する地層や化石の調査を行った。那珂川町の馬頭岩体の年代についての成果をまとめた論文が国際誌に掲載された。県版レッドデータブック改訂事業では、地形・地質に関する情報の収集・整理を行った。那須烏山市ジオパーク構想については専門的見地から助言を行った。</p>
	学芸嘱託員 地学担当 薄井 香淑	<p>栃木県内の鉱山跡で岩石・鉱物の資料収集を行った。</p> <p>県版レッドデータブック改訂事業では、栃木県内の地形地質や化石の調査を行った。</p> <p>「わたしたちの生活と鉱物」「みんなの鉱物大百科」などの地域移動博物館、「火山灰は宝石箱」などの講座に携わり、岩石・鉱物の調査研究を行った。</p>
植 物	主任研究員 維管束植物担当 星 直斗	<p>栃木県内に分布する維管束植物の資料収集、整理、調査研究を行った。</p> <p>特に県版レッドデータブック改訂事業に関連してクロビイタヤ、トラキチラン、コウホネ類、ササ類等の分布調査、那須烏山市の低標高に残存するブナ林、奥鬼怒の針葉樹林、湿原の植生調査を行った。国立科学博物館等の館外施設においてシソ科、ラン科、カヤツリグサ科植物等の標本調査を行った。また、これまで収集された希少種・希少群落の分布情報等について再検討・整理を行い、県版レッドデータブック2018の維管束植物分野と植物群落分野の編集と部分的な執筆を行った。</p>
	主任研究員 維管束植物を除く 植物・菌類担当 坂井 広人	<p>栃木県内の地衣類、真菌類、変形菌類、蘚苔類、藻類の資料の収集・整理作業を行った。県版レッドデータブック改訂事業に関連して、上記分類群の生息情報の収集・整理、原稿の作成・取りまとめを行った。平成29年度は地衣類と真菌類の調査を重点的に行った。また、日光地域の自然学術総合調査の一環として、日光地域の地衣類、真菌類の分布調査を行った。</p> <p>地域移動博物館や出前授業、出前講座などを通して、地衣類や真菌類を紹介した。</p> <p>テーマ展「ミクロの世界」では主担当として、主に電子顕微鏡で撮影した身近な動植物、鉱物、化石の写真パネルと標本などを紹介した。また、学芸員としておき講座「身近な地衣類」を行った。</p> <p>収蔵資料活用促進展示「収蔵庫は宝の山！ー初公開の化石・鉱物・動植物ー」では地衣類、真菌類、藻類を担当し、展示を行った。</p>
	学芸嘱託員 植物・菌類担当 三瓶 ゆりか	<p>栃木県内に分布する維管束植物、藻類の資料収集を行った。県版レッドデータブック改訂事業では、維管束植物分野と植物群落分野の編集を行った。また、過去の県版レッドリスト(2005, 2011)で収集された分布情報を含め、種ごとの生育状況について再整理を行い、県版レッドデータブック作成のための資料を作成した。</p> <p>観察会や講座などを通じて県内の藻類を調査した。</p> <p>テーマ展「ミクロの世界」ではプランクトンを担当し、展示を行った。</p>
	学芸嘱託員 植物・菌類担当 山本 航平	<p>栃木県内に分布する真菌類の資料収集を行った。県版レッドデータブック改訂事業で真菌類と地衣類の野外調査、標本作製・整理を行った。過去の県版レッドリスト(2005, 2011)で用いられた分布情報を含め、種ごとの生育状況についても整理を行った。2018レッドデータブックとちぎの真菌類の一部を執筆した。</p> <p>テーマ展「ミクロの世界」では展示の一部を担当した。地域移動博の展示補助を行った。</p>

分野	職名・担当・氏名	調査研究内容
動物	学芸部長補佐兼 自然課長 脊椎動物担当 林 光武	<p>栃木県内の哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類・魚類の標本の収集・整理作業を行った。また、県版レッドデータブック改訂事業に関連して、上記分類群の生息情報の収集・整理、原稿の作成・取りまとめを行った。</p> <p>前年度に引き続き、宇都宮市においてトウキョウサンショウウオの保全対策の検証調査をグリーントラストうつのみやなどと共同で実施した他、高原山地の人工池で両生類の生息状況の長期的変動調査を行った。また、県内の水田地帯で国内外来種ヌマガエル分布拡大状況の調査を行った。さらに、日光地域の自然学術総合調査の一環として、博物館ボランティアと共に日光地域の両生類・爬虫類の分布・生活史調査を行った。</p>
	主任研究員 昆虫担当 栗原 隆	<p>地域移動博物館「たんけん！はっけん！昆虫大集合」を担当し、さくら市ミュージアムで国内外の昆虫を展示し、また、海外での昆虫調査も紹介した。栃木県内の昆虫類の調査、収集、整理を行った。</p> <p>当館の収蔵資料については、日本産のケシキスイ科及びヒゲボソケシキスイ科のデータベース化を行った。また、新たに収蔵されたチョウのデータを追加した。</p> <p>県版レッドデータブック改訂事業では、野外調査を行うとともに、レッドデータブックの昆虫分野の取りまとめを行った。</p>
	研究員 昆虫以外の 無脊椎動物担当 南谷 幸雄	<p>栃木県内の昆虫以外の無脊椎動物の調査、資料収集を行った。県版レッドデータブック改訂事業の一環として、土壌動物の分布情報の収集を行った。博物館ボランティアとともに、陸産貝類とミミズの分布調査を行った。外来種コハクオナジマイマイの分布調査を行った。</p> <p>収蔵資料活用促進展示「収蔵庫は宝の山！一初公開の化石・鉱物・動植物―」、テーマ展「ミクロの世界」では昆虫以外の無脊椎動物を担当し、展示を行った。テーマ展「ミミズ」では身近な動物であるミミズに焦点を当てて、形態や生態、人との関わりについて紹介した。エビ・カニ・ヤドカリの地域移動博物館を実施した。</p> <p>生物液浸収蔵庫内の液浸標本の整理を行い、現在の分類体系に沿って配列し直した。1990年代以前に県内各地で行われた土壌動物調査サンプルを整理した。</p>
	学芸嘱託員 動物担当 浅羽 宏	<p>栃木県内の哺乳類、鳥類の斃死体の収集を行い、骨格標本化の作業を行った。また、過去に収集され、冷凍保存されていた中大型哺乳類の死体についても、同様の処理を行った。</p> <p>講座「豚足で骨格標本をつくろう」を実施し、野外観察会での補助的業務を行った。</p>
	学芸嘱託員 動物担当 鈴木 信也	<p>栃木県内の昆虫類の調査、資料収集、整理を行った。特に蛾類を中心に、生息状況の調査を重点的に行った。県版レッドデータブック改訂事業では、昆虫類の生息状況の調査を行った。また、レッドデータブック掲載種の県内の生息情報を整理した。</p> <p>地域移動博物館「たんけん！はっけん！昆虫大集合」や、テーマ展「ミクロの世界」で展示を一部担当した。</p>

2 博物館資料の収集

(1) 購入資料

－人文系－

歴史部門

番号	資料名	数量	制作年代
1	本朝鍛冶考	12冊	天保3年(1832)
2	将門記	1冊	寛政11年(1799)
3	大日本名将鑑 田原藤太秀郷	1紙	明治13年(1880)
4	和名類聚鈔	10冊	寛文7年(1667)
5	前太平記相馬内裏之図	3枚	明治元年(1868)
6	職原抄	2冊	延宝7年(1679)

美術工芸部門

番号	資料名	数量	制作年代
1	寒山拾得図 田谷芝斎筆	1幅	江戸時代(19世紀)
2	山水図 堀田正衡筆	1幅	江戸時代(19世紀)
3	冬景山水図 谷幹々筆	1幅	江戸時代(18世紀)

－自然系－

地学部門

番号	資料名	数量	産地	備考
1	神保石	1	栃木県鹿沼市 加蘇鉦山	
2	エドモンドサウルス	2	アメリカ	血道弓、中足骨各1点
3	バンビラプトル全身骨格模型	1	北アメリカ	

(2) 寄贈資料

－人文系－

歴史部門

番号	資料名	数量	寄贈者名
1	宇都宮氏軍旗	1旒	株式会社 高津商会
2	山納家戦争関係資料	8点	山納悦子氏
3	近代教育関連資料	21冊	船山文江氏

美術工芸部門

番号	資料名	数量	寄贈者名
1	竹林七賢図屏風 狩野雅信(勝川)筆	6曲1隻	伊井大三・真希子氏

－自然系－

地学部門

番号	資料名	数量	寄贈者名	産地	備考
1	トラスコット石	1	井上真治氏	菱刈鉦山(山田鉦床)	
2	金銀鉦石	1	井上真治氏	菱刈鉦山(山田鉦床)	
3	金銀鉦石	6	井上真治氏	菱刈鉦山(本鉦床)	
4	金銀鉦石	1	井上真治氏	大身谷鉦山	
5	自然金	1	井上真治氏	佐渡鉦山	
6	藍鉄鉦(群晶)	1	長野亮一氏	日光足尾	
7	藍鉄鉦(単晶)	1	長野亮一氏	産地不明	
8	蛍石	1	堀江孝佳氏	日光市猪倉	

(3) 標本及び複製品等作製（委託作製資料）

－自然系－

動物部門

番号	資料名	数量	備考
1	動物剥製標本	5	ミサゴ本剥製1点、サシバ、オオタカ仮剥製各1点、フクロウ仮剥製2点

(4) 採集資料

－自然系－

番号	資料名	数量	備考
1	維管束植物	123	さく葉標本
2	地衣類	1,058	さく葉標本
3	菌類	133	凍結乾燥標本
4	変形菌類	4	乾燥標本
5	哺乳類	44	骨格標本・毛皮標本
6	鳥類	47	仮剥製・骨格標本
7	爬虫類	17	液浸標本
8	両生類	96	液浸標本
9	魚類	14	液浸標本
10	昆虫類	198	乾燥標本
11	甲殻類	99	液浸標本
12	多足類	3	液浸標本
13	貝類	176	乾燥標本・液浸標本
14	貧毛類	382	液浸標本
15	化石	3	県内外の化石
16	岩石・鉱物	37	県内外の岩石・鉱物

3 館蔵資料の貸し付け

—人文系—

番号	資料名	数量	貸し付け先	備考
			貸し付け期間	
1	清水畑遺跡出土「アスファルト付着石鏃」	1	那珂川町なす風土記の丘資料館 H29. 4. 1～H30. 3. 1	常設展で展示
2	宇都宮市塚山古墳群出土遺物 ほか	48	下野市立しもつけ風土記の丘資料館 H29. 4. 1～H30. 3. 1	常設展で展示
3	ワラ人形（日光市） ほか	6	小山市立博物館 H29. 4.11～H29. 7.14	企画展「ヒトガタ～はらう・ねがう・のろう～」への展示
4	後藤遺跡出土「土偶」5点 大塚古墳群内遺跡出土「人面付壺形土器」1点 ほか	7	小山市立博物館 H29. 4.11～H29. 7.14	企画展「ヒトガタ～はらう・ねがう・のろう～」への展示
5	「双眼鏡（武田久吉使用）」ケース付	1	株式会社日光自然博物館 H29. 4.16～H29.11.30	旧英国大使館別荘への展示
6	回想法キット一式	1	栃木県済生会高齢者ケアセンター H29. 5.17～H29. 5.31	施設内レクレーションへの使用
7	回想法キット一式	1	栃木県済生会高齢者ケアセンター H29. 5.31～H29. 6.14	施設内レクレーションへの使用
8	谷文晁筆「霧降滝図扇面」一幅 椿椿山筆「日光道中真景図巻稿」一卷	2	群馬県立近代美術館 H29. 7. 6～H29. 9.10	企画展「日本美術のスズメキーワードと巡るぶらり古画探訪」への展示
9	観音菩薩立像 阿弥陀三尊像（複製） 堂平遺跡出土 土師器甕2点 土師器坏2点 土師器壺1点 ほか	30	大田原市教育委員会 H29. 8.22～H29.12.28	なす風土記の丘企画展「那須の人々の心とほとけ—古代から中世初期の仏像をたどる—」への展示
10	狩野正信筆 横川景三賛「観瀑図」一幅 「元信」印 東溪宗政賛「達磨慧可対面図」一幅 ほか	9	サントリー美術館 H29. 8.28～H29.11.24	企画展「天下を治めた絵師 狩野元信」への展示
11	多功南原遺跡出土石器	33	岩宿博物館 H29. 9.16～H30. 1.19	企画展「石器から地域の違いをみる」への展示
12	真岡木綿（塚田元成氏蔵） 下野名産図解のうち大麻 東講商人鑑 野州麻（繊維）	4	千葉県立関宿城博物館 H29. 9.19～H29.12.17	企画展「鯛は弱いが役に立つ—肥料の王様 干鯛—」への展示
13	「依藤太秀郷物語絵巻」中・下巻	2	小山市立博物館 H29.10. 1～H29.12.20	企画展「古代の製鉄遺跡群—渡瀬遊水地周辺の台地に刻まれた歴史を探る—」への展示
14	何耕地遺跡出土 「打製石斧」 「磨製石斧」 ほか	7	那須歴史探訪館 H29.10. 1～H30. 9.30	那須歴史探訪館での常設展示
15	伝足利尊氏画像（複製） 足利尊氏筆「地藏菩薩像」 足利尊氏筆「日課観音」 ほか	6	さくら市ミュージアム—荒井寛方記念館— H29.11. 2～H30. 1.19	企画展「さくら市の歴史と文化 喜連川のお殿様」への展示
16	みの、かさ	2	NHK宇都宮放送局 H29.11.30～H29.12. 5	宇都宮南図書館サザンクロスホールにて「親子で楽しむ！“うごく絵本”の朗読会」に使用

番号	資料名	数量	貸し付け先	備考
			貸し付け期間	
17	藤岡神社遺跡出土 犬形土製品 (複製) 迷い双六犬とり競争 ほか	4	那珂川町なす風土記の丘資料館	企画展 特別陳列干支展「戌を考古学する」への展示
			H29.12. 1～H30. 2.11	
18	後藤遺跡出土 土偶2点 ほか	4	茂木町教育委員会	企画展「九石古宿遺跡と縄文後・晩期の世界」への展示
			H29.12.26～H30. 4.15	
19	狩野探幽筆「富士三保清見寺図」 三幅 狩野探幽筆「瀟湘八景図巻」一卷	2	サントリー美術館	企画展「寛永の雅 江戸の宮廷文化と遠州・仁清・探幽」への展示
			H30. 1.29～H30. 4.27	
20	尾の草遺跡出土瓦 865点	865	那珂川町教育委員会	調査研究のため
			H30. 2.22～H31. 3.31	
21	二重肩釜 ほか	2	群馬県立歴史博物館	企画展「織田信長と上野国」への展示
			H30. 2.26～H30. 5.31	
22	三代広重画「養蚕図」二幅	2	小山市立博物館	企画展「碓井要作 田中正造とともに歩んだ蚕種家」への展示
			H30. 3. 1～H30. 6.30	
23	椿椿山筆「高久靄厓稿」一幅 小泉斐筆「唐美人図」一幅 ほか	9	千葉市美術館	企画展「百花繚乱列島」への展示
			H30. 3.15～H30. 6. 5	

※写真・映像データのみの貸し付け件数は計88件（年報への掲載は省略）。

－自然系－

番号	資料名	数量	貸し付け先	備考
			貸し付け期間	
1	ポリプチコセラス 他76点	77	ミュージアムパーク茨城県自然博物館 H29. 1.10～H29. 6.30	企画展「アンモナイト・ワールド」で展示
2	栃木県産サクラ類の生態写真、分布図等のパネル	80	しもつけ風土記の丘資料館 H29. 3.14～H29. 5.12	企画展「「桜」－サクラもいろいろ－」で展示
3	ヒミズ骨格標本	6	帯広畜産大学畜産生命科学専攻 H29. 4. 1～H29. 5.31	旧食虫目の機能形態学的比較のため
4	バンピラプトル生体復元模型 他10点	11	大田原市ふれあいの丘自然観察館 H29. 4.18～H29.12.28	企画展「今年はとり年」で展示
5	カワラノギクほか植物、昆虫、哺乳類、鳥類、魚類、甲殻類、淡水産貝類の標本18種25点、画像データ17点	28	宇都宮市自然環境課 H29. 4.28～H29. 6. 2	宇都宮市役所、宇都宮市立東・南図書館の「うつのみやの自然パネル展」で展示
6	プテラノドン前肢 他13点	14	鳥取県立博物館 H29. 5.19～H29. 9.10	企画展「つばさの博覧会－巨大翼竜からペンギンまで－」で展示
7	タカアシガニ 他102点	103	芳賀町総合情報館 H29. 5.20～H29. 7. 9	企画展「エビ・カニ・ヤドカリ～不思議な甲殻類の世界～」で展示
8	クサリサンゴ 他12点	13	佐野市葛生化石館 H29. 5.23～H29.12.15	企画展「石灰岩物語～化石と人が語る人と地球のものがたり～」で展示
9	ケナガマンモス下顎、ケサイ頭骨	2	九州国立博物館 H29. 5.31～H29. 9.30	特別展「世界遺産 ラスコール展 クロマニヨン人が見た世界」で展示
10	アノマロカリス 他29点	30	大阪市立自然史博物館 H29. 6. 1～H29. 9.19	「メガ恐竜展2017～巨大化の謎にせまる～」で展示
11	ステネオサウルス 他67点	68	月山あさひ振興公社 H29. 6. 4～H29.10.29	企画展「恐竜時代の海と空・陸」で展示
12	メガロサウルス 他32点	33	那須塩原市那須野が原博物館 H29. 6. 5～H29.10. 7	特別展「大恐竜展Ⅱ－トリケラトプスとアジアの超肉食恐竜－」で展示
13	ノコギリクワガタ及びミヤマクワガタ雌雄型、オオキバウスバカミキリ、クイーンズランドシワバネクワガタ雌雄	5	豊橋市自然史博物館 H29. 6.16～H29. 9.29	特別企画展「武器甲虫－クワガタ、カブトの進化を探る－」で展示
14	昆虫標本及び写真	2,103	さくら市ミュージアム～荒井寛方記念館～ H29. 7.11～H29. 9.12	地域移動博物館「たんけん！はっけん！昆虫大集合」における展示及び広報
15	キノコの乾燥標本、写真パネル、レプリカ	306	小山市立博物館 H29. 7.20～H29. 8.30	地域移動博物館「キノコの世界」で展示
16	両生類標本	127	茂木町ふみの森もてぎ H29. 7.30～H29. 9. 5	企画展「とちぎのカエルとサンショウウオ」で展示
17	鉱物標本93点、生活用品52点	145	益子町中央公民館 H29. 7.29～H29. 9. 3	企画展「わたしたちの生活と鉱物」で展示
18	日光地形模型	1	栃木県立小山高等学校 数理科学科 H29. 8.10～H29. 9.22	課題研究・文化祭研究発表のための資料
19	縞状鉄鉱、磁鉄鉱 他145点	147	大田原市ふれあいの丘自然観察館 H29. 9. 9～H29.12.10	企画展「わたしたちの生活と鉱物」で展示

番号	資料名	数量	貸し付け先	備考
			貸し付け期間	
20	トドマツノキバチ標本写真	1	大学連携e-Learning教育支援センター四国 愛媛大学分室長	e-Learningコンテンツ「昆虫と環境」第4講」上のスライドに複製し、四国国立5大学の学生に開講するため
			H29.10. 1～H35. 9.30	
21	化石貸出セット	11	栃木県立宇都宮商業高等学校	理科の授業で使用
			H29.11. 2～H29.11.15	
22	写真パネル用データ（アライグマ2点、タヌキ2点、ハクビシン1点）	5	株式会社 日光自然博物館	企画展「干支展 奥日光“イヌ”に関するエトセトラ」で展示
			H29.11.25～H30. 2.11	
23	化石貸出セット	17	壬生町立羽生田小学校	理科の授業で使用
			H29.12. 6～H29.12.22	
24	タヌキ白変個体、アナグマ、カモシカ剥製各1点、カモシカ毛皮、頭骨標本、全身骨格標本各1点	6	鹿沼市教育委員会	企画展「蔵出し！鹿沼の文化財」で展示
			H29.12. 8～H30. 2.16	
25	栃木県産維管束植物の生態写真、分布図等の写真パネル118点、標本59点	177	塩谷町生涯学習センター	企画展「来て！見て！とちぎ・しおやの植物館」で展示
			H29.12. 9～H30. 1.14	
26	岩石鉱物標本	238	那須塩原市那須野が原博物館	企画展「みんなの鉱物大百科」で展示
			H29.12.23～H30. 4.15	
27	ヒメバチ科標本（昆虫）	149	神奈川県立生命の星・地球博物館 渡辺恭平	学術研究利用
			H29.12.27～H30. 3.30	
28	ニッポンサイ生体復元模型、鍾乳洞模型	2	佐野市葛生化石館	館内展示室で展示
			H30. 1.10～H30. 3.31	
29	蘚苔類乾燥標本	34	富永孝昭	学術研究利用
			H30. 1.11～H30. 1.31	
30	ニホンカワウソ胎子液浸標本	2	群馬県立自然史博物館	第56回企画展「ぐんまちゃん とめぐる利根川の旅」で展示
			H30. 2. 1～H30. 5.31	

－教育広報課－

番号	資 料 名	数量	貸し付け先	備 考
			貸し付け期間	
1	縄文土器、弥生土器、銅鐸（体験用）	3	栃木県立聾学校 H29. 4.16～H29. 4.21	社会科授業のため
2	矢じり、触れる縄文土器、銅鏡、銅戈、箱石器標本セット、勾玉、金印、ツキノワグマ毛皮、ニホンジカ幼獣剥製、ナウマンゾウの歯化石、ミミズク土偶レプリカ、貫頭衣、マネキン、石皿、すり石、縄文土器模様付け体験キット	16	宇都宮市立宝木小学校 H29. 4.18～H29. 5. 2	社会科授業のため
3	十二単一式、狩衣一式、大鎧、束帯一式	4	日光市立大沢小学校 H29. 5.18	社会科授業のため
4	十二単一式、狩衣一式、大鎧、箆、弓、太刀	6	鹿沼市立みなみ小学校 H29. 5.19	社会科授業のため
5	十二単一式	1	宇都宮大学教育学部附属小学校 H29. 5.30～H29. 6. 2	社会科授業のため
6	十二単一式、狩衣一式	2	宇都宮市立陽東小学校 H29. 6.13～H29. 6.18	社会科授業のため
7	十二単一式	1	宇都宮市立明保小学校 H29. 6.13	社会科授業のため
8	十二単一式、狩衣一式、大鎧、当世具足	4	宇都宮市立陽東小学校 H29. 7. 8～H29. 7.20	社会科授業のため
9	火縄銃2点	2	宇都宮市立宝木小学校 H29. 7.13～H29. 7.15	社会科授業のため
10	アトラスオオカブトのなかま、オウゴンオニクワガタのなかま、オニツヤクワガタのなかま（1）、オニツヤクワガタのなかま（2）、オニツヤクワガタのなかま（3）、オニツヤクワガタのなかま（4）、オオクワガタ、ヒラタクワガタのなかま、ホンヅノカブトのなかま、タテヅノカブトのなかま、方鉛鉱、閃亜鉛鉱、輝安鉱、菱マンガン鉱石、オパール、カンラン石、含ザクロ石花崗岩、ペグマタイト、珪酸亜鉛鉱、輝水鉛鉱、メノウ、ストロマトライト	22	真岡市教育委員会 科学教育センター H29. 7.20～H29. 8. 8	夏休み特別公開展示資料として
11	木の葉化石	1	宇都宮市瑞穂野生生涯学習センター H29. 8. 9	親子チャレンジ教室
12	十二単一式	1	栃木県立大田原女子高等学校 H29. 8.29～H29. 9. 3	研究発表の参考資料とするため
13	十二単一式、大鎧、当世具足、弓、矢、火縄銃、太刀2点	8	宇都宮市立姿川第一小学校 H29. 9. 1	社会科授業のため
14	大鎧、当世具足、足軽鎧、太刀2点、刀、火縄銃、弓	8	宇都宮市立明保小学校 H29. 9. 5	社会科授業のため
15	大鎧、当世具足（金溜塗二枚胴具足）、当世具足（復古調具足）、足軽鎧、火縄銃、太刀2点、刀2点、弓、鏑矢、箆	12	宇都宮市立宝木小学校 H29. 9. 5～H29. 9. 8	社会科授業のため
16	十二単一式、束帯一式	2	真岡市立久下田中学校 H29. 9.18～H29. 9.22	総合的な学習の時間授業のため

番号	資料名	数量	貸し付け先	備考
			貸し付け期間	
17	十二単一式、狩衣一式、束帯一式	3	日光市立栗山中学校	学校行事のため
			H29.10.25～H29.11. 5	
18	アンモナイト、木の葉化石2点、鬼怒川クジラ産状シート、始祖鳥模型、シーラカンス化石、各解説パネル	11	宇都宮市立宝木小学校	理科授業のため
			H29.11.17～H29.12. 2	
19	ツキノワグマ毛皮、黒曜石、矢じり、縄文土器、さわれる縄文土器、貫頭衣、勾玉、銅鐸、銅鏡、銅戈、おどる埴輪（男女）、金印、源氏物語絵巻、紫式部絵詞、大鎧、太刀、箆、弓、鏑矢、刀飾り台、種子島銃、山水図長巻、世界地図屏風、石盤、木銃、もんぺ、尋常小学校教科書（復刻版）	28	宇都宮市立中央図書館	企画展示のため
			H29.11.21～H29.12.19	
20	十二単一式、当世具足、太刀、火縄銃、回想法セット（人文課資料）	5	特別養護老人ホーム梅の里	体験講座のため
			H29.11.22	
21	石臼	1	鹿沼市経済部産業振興課	イベントのため
			H29.11.23～H29.11.28	
22	石臼2点、天秤棒、水桶、たらい、洗濯板、藁ぐつ、胴蓑、菅笠、蛇の目傘、提灯、吊りランプ、釜、電気炊飯器、黒電話、デルビル磁石式電話機、火打石3点、舞ぎり式火おこし器3点	21	益子町立益子小学校	社会科授業のため
			H29.11.28	
23	勾玉作り資料	1	宇都宮市立豊郷北小学校	学校行事のため
			H29.12. 2	
24	ゲートル3点、飯盒、水筒、ほか（人文課資料）	5	下野市立石橋小学校	社会科授業のため
			H29.12. 5	
25	ツキノワグマ頭骨、ニホンザル頭骨、ニホンカモシカ頭骨、キツネ頭骨	4	栃木県立那須拓陽高等学校	理科授業のため
			H29.12. 7～H29.12.14	
26	石臼2点、火おこし器、火打石、たらい、手押しポンプ、天秤棒、水桶、洗濯板、藁ぐつ、胴蓑、菅笠、吊りランプ、蓄音機、釜、デルビル磁石式電話、黒電話、糸車、もっこ	19	下野市立石橋小学校	社会科授業のため
			H29.12. 8	
27	ゲートル3点、飯盒、水筒、ほか（人文課資料）	5	下野市立石橋小学校	社会科授業のため
			H29.12. 8	
28	石臼2点、薬研2点、火おこし器、たらい、手押しポンプ、天秤棒、水桶、洗濯板、藁ぐつ、胴蓑、菅笠、釜、蛇の目傘、黒電話	16	宇都宮市立雀宮東小学校	社会科授業のため
			H29.12. 8	
29	石臼2点、水桶、天秤棒、火おこし、湯たんぽ（金属製）、さおはかり、吊りランプ、昔の遊び道具10点、薬研2点、杓、背負梯子、藁ぐつ、手押しポンプ	24	宇都宮市立昭和小学校	社会科授業のため
			H29.12.13	

番号	資料名	数量	貸し付け先	備考
			貸し付け期間	
30	火消し壺、高足膳一式、鬼おろし、洗濯板、湯たんぼ、あんか、たらい、火起こし器5点、石臼2点、天秤棒、水桶、さおばかり、箱枕、たんころ、糸車、藁ぐつ、草履、草鞋、提灯、吊りランプ	25	さくら市立氏家小学校	社会科授業のため
			H29.12.15	
31	石臼2点、手押しポンプ、水桶、天秤棒、棹秤、枴、釜、電気炊飯器、デルビル磁石式電話、黒電話、おひつ、火鉢、提灯、吊りランプ、蓄音機、糸車、洗濯板、たらい、胴蓑、菅笠、藁ぐつ	22	下野市立薬師寺小学校	社会科授業のため
			H29.12.19	
32	デルビル磁石式電話、黒電話、釜、電気炊飯器、藁ぐつ、胴蓑、蓄音機、たらい、洗濯板、糸車、石臼2点、天秤棒、水桶	14	下野市立祇園小学校	社会科授業のため
			H29.12.20	
33	石臼2点、火おこし器5点、火打石3点、藁研、手押しポンプ、天秤棒、水桶	14	宇都宮市立城山中央小学校	社会科授業のため
			H30. 1. 7	
34	たらい（木製）、洗濯板（木製）、釜、そろばん、こて、さおばかり、湯たんぼ、黒電話、藁ぐつ、蓑	10	真岡市立真岡西小学校	社会科授業のため
			H30. 1.18～H30. 1.25	
35	太刀、足軽鎧、種子島銃	3	栃木県立上三川高等学校	社会科授業のため
			H30. 1.19～H30. 1.26	
36	十二単一式、大鎧、束帯一式	3	日光市立今市第三小学校	社会科授業のため
			H30. 1.21～H30. 1.26	
37	吊りランプ、蓄音機、電気炊飯器、デルビル磁石式電話、白黒テレビ、水桶、天秤棒、湯たんぼ、石臼2点、草鞋、藁ぐつ、草履、蛇の目傘、提灯、真空管ラジオ、火鉢、手押しポンプ	18	宇都宮市立陽東小学校	社会科授業のため
			H30. 1.24～H30. 1.25	
38	石臼2点、天秤棒、水桶、藁ぐつ、胴蓑、菅笠、蛇の目傘、湯たんぼ、吊りランプ、糸車	11	宇都宮市立姿川第一小学校	社会科授業のため
			H30. 1.26	
39	十二単一式、大鎧、束帯一式	3	鹿沼市立上南摩小学校	社会科授業のため
			H30. 1.27～H30. 2. 2	
40	蛇の目傘、魔法瓶、湯たんぼ、洗濯板、たらい（金属）、黒電話	6	栃木県立盲学校	社会科授業のため
			H30. 1.28～H30. 2.10	
41	石臼2点、水桶、天秤棒、蓄音機、デルビル磁石式電話、黒電話、釜、電気炊飯器、豆炭あんか、こて	11	茂木町立逆川小学校	社会科授業のため
			H30. 1.30	
42	石臼2点、藁研、天秤棒、水桶、手押しポンプ、火おこし器3点、火打石、蓄音機、菅笠、藁ぐつ、胴蓑、釜、豆炭あんか、デルビル磁石式電話	17	日光市立下原小学校	社会科授業のため
			H30. 1.31	
43	石臼、テープレコーダー、手押しポンプ、洗濯板、たらい、水桶、天秤棒、蓄音機、わらぐつ、わらじ	10	栃木市立大宮南小学校	社会科授業のため
			H30. 2. 1	

番号	資料名	数量	貸し付け先	備考
			貸し付け期間	
44	蓄音機、レコード、テープレコーダー（ウォークマン）、石臼2点、薬研、水桶、天秤棒、手押しポンプ、吊りランプ、お釜、電気炊飯器、デルビル磁石式電話機、黒電話、蛇の目傘、菅笠、蓑、藁ぐつ	18	宇都宮市立築瀬小学校	社会科授業のため
			H30. 2. 7	
45	石臼2点、薬研2点、たらい、升、手押しポンプ、天秤棒、水桶、棹はかり、藁沓、胴蓑、菅笠、蛇の目傘、提灯、吊りランプ、蓄音機、釜、デルビル磁石式電話機、黒電話、糸車、湯たんぼ（陶製）、豆炭あんか、こて、湯たんぼ（金属製）、洗濯板、わらじ、蓑帽子、もっこ	29	茂木町立茂木小学校	社会科授業のため
			H30. 2. 8	
46	おにおろし3点、ぼうじぼ3点	6	宇都宮市立陽東小学校	社会科授業のため
			H30. 2.15	
47	石おの（打製）、お釜、石おの（磨製）、フズリナ化石を含む岩石、土師器、三葉虫標本、須恵器（人文課資料）、化石標本セット（リコプテラ）、十二単、黒曜石、弓、磁鉄鉱、矢、鏑矢、箆、ポーキサイト、火縄銃、石炭	18	栃木県立栃木特別支援学校 ひばり分教室	国語科、社会科、理科、家庭科授業のため
			H30. 3.16～H30. 3.17	
48	フズリナ化石を含む岩石、三葉虫標本、アンモナイト、マンモスの歯、ナウマンゾウの歯、クサリサンゴ、始祖鳥（自然課資料）	7	大田原市立若草中学校	理科授業のため
			H30. 3.11～H30. 3.27	

4 企画展

第117回企画展

ユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」登録記念

とちぎ版文化プログラム リーディングプロジェクト事業

「とちぎの山・鉾・屋台」

4月29日(土)～ 6月15日(木)

本県の「烏山の山あげ行事」と「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」が、ユネスコ無形文化遺産の代表一覧表に記載されたことを記念して実施した。それぞれの行事の歴史的な背景と現在の状況を資料や写真を通して紹介するとともに、「日光弥生祭付祭家体献備行事」、「宇都宮の天祭」、「とちぎの山車祭り」など本県各地で行われる「山・鉾・屋台行事」を概観した。

鹿沼の仲町屋台、烏山の中町屋台を展示するとともに、烏山の「屋台引違い絵図面」、小山の県内最古の屋台部材など、初公開の資料を展示した。また、会期中に関連行事としてオープニング講座、記念講演会、常磐津公演「将門」、鹿沼の囃子、鹿沼組子の体験、展示解説、学芸員とっておき講座を実施した。

展示構成

はじめに ユネスコ無形文化遺産
「山・鉾・屋台行事」

第1章 栃木の山・鉾・屋台行事

第1節 山・鉾・屋台行事とは

第2節 山車と屋台

第3節 歴史

第4節 各地の山・鉾・屋台行事

コラム 天棚

第2章 行事を支える人々

第1節 職人

第2節 芸能

第3章 烏山の山あげ行事

第1節 烏山の山あげ行事の歴史

第2節 現在の烏山の山あげ行事

コラム 烏山の山あげ行事と烏山和紙

第4章 鹿沼今宮神社祭の屋台行事

第1節 鹿沼今宮神社祭の屋台行事の歴史

第2節 現在の鹿沼今宮神社祭の屋台行事

主な展示資料

山王御祭礼練込之図（川越市立博物館蔵）

県庁新設祝賀の図（宇都宮市教育委員会蔵）

日光御番所日記（日光東照宮蔵）

日光山大明神祭礼絵巻（個人蔵）

赤坂町祭礼記録（那須烏山市教育委員会蔵）

屋台引違い絵図面（個人蔵）

烏山中町屋台（仲町若衆蔵）

今宮御とう事（鹿沼・今宮神社蔵）

鹿沼仲町屋台（仲町自治会蔵）

（担当 人文課：篠崎茂雄・木村真理子・石井和帆）

第118回企画展

「大集合！北関東の動植物化石」

7月15日(土)～ 8月27日(日)

本県をはじめとする北関東地域は、動植物化石が豊富に産出することで知られている。これまでに発見された化石には、生物の進化史や古環境を語るうえで重要な資料が多い。また、多くの新種が発見されている。このように、北関東の大地は化石の宝庫であるものの、県民にはその意義が十分に知られていない。

そこで、本企画展では、栃木県産に加え、茨城県・群馬県産の動植物化石を最新の研究成果を踏まえ幅広く展示し、この大地から見つかる古生物の魅力と学術的重要性を広く県内外へ向けて紹介した。

展示構成

第1章 北関東の大地のなりたち

第2章 古生代の化石

第3章 中生代の化石

第4章 新生代新第三紀の化石

第5章 新生代第四紀の化石

第6章 北関東古生物研究の最前線

（担当 自然課：河野重範・岡本直人・薄井香淑）

開館35周年記念特別企画展

「中世宇都宮氏一頼朝・尊氏・秀吉を支えた名族―」

9月16日(土)～10月29日(日)

当館の開館35周年を記念して、宇都宮市をはじめ10市町と下野新聞社等のメディア4社主催で特別企画展を開催し、平安時代の末期から戦国時代の終わりまで、400年以上にわたって現在の宇都宮市を本拠に活躍した名門武士団宇都宮氏の歴史・文化・信仰を概観した。

また、会期中に関連行事として記念講演会の他、連続講演会、関連市町による史跡紹介「中世宇都宮氏の興亡のあとをさぐる」等を実施した。

展示構成

プロローグ 宇都宮氏の成立

コラム 各地に広がる宇都宮氏

第1章 源頼朝と宇都宮氏

コラム 宇都宮氏による東大寺への作善

第2章 宇都宮氏の信仰と文化

コラム 笠間時朝の造像

コラム 似絵画家藤原為信の下野下向

コラム 一大文化ネットワークとしての宇都宮歌壇

第3章 足利尊氏と宇都宮氏

コラム 宇都宮氏と院派仏師

コラム 宇都宮正綱と『日光山並当社（宇都宮社）縁起絵巻』

第4章 戦国時代の宇都宮氏

第5章 豊臣秀吉と宇都宮氏

コラム 政宗が宇都宮で拝領した甲冑

エピローグ 宇都宮氏の遺産

主な展示資料（全241件の内）

国宝「法然上人絵伝」（知恩院蔵）

国宝「泉涌寺勧縁疏」（泉涌寺蔵）

国宝「一遍聖絵」（清浄光寺蔵）

国宝「西方指南抄」（本山専修寺蔵）

国宝「上杉家文書」（米沢市上杉博物館蔵）

重文「薬師如来立像」（岩谷寺蔵）

重文「阿弥陀如来立像」（大念寺蔵）

重文「豊臣秀吉像」（高台寺蔵）

「宇都宮氏軍旗」（高津古文化会館蔵）

「足利尊氏像」（個人蔵）

（担当 学芸部長：江田郁夫、人文課：本田諭・飯塚真史・山本享史・深沢麻亜沙）

5 収蔵資料活用促進展示

「収蔵庫は宝の山！—初公開の化石・鉱物・動植物—」

平成29年 3月18日(土)～ 6月18日(日)

博物館の資料が、収蔵庫の中でどのように保管され、館の内外で何に活用されているのかを、自然系資料を通じて紹介した。

また、今回初展示の資料を中心にその価値と魅力を紹介し、世代を超えて資料を引き継ぐことの大切さを伝えることを目指した。

（担当 自然課：星直斗・林光武・岡本直人・栗原隆・坂井広人・河野重範・南谷幸雄・小田桐亮・浅羽宏・三瓶ゆりか）

6 テーマ展

（1）歴史部門

「藤原秀郷と那須与一—伝説の武将の実像に迫る—」

2月24日(土)～平成30年 4月 8日(日)

中世前期の下野を代表する2人の伝説化された武将について特集展示を行い、その実像に迫った。それぞれ、平将門の乱や源平合戦などで活躍したことに加え、後世の英雄伝承の主人公としても多くの足跡を残している。特に、西日本において数多くの伝承が残されていることについて、フィールドワークの成果とともに展示し、全国で人気を博していたことを紹介した。それぞれの人物について3章構成とし、34点の資料を展示した。

関連行事として、学芸員とっておき講座と展示解説を行った。

（担当 人文課：山本享史・飯塚真史）

（2）民俗部門

「地域回想法と博物館」

7月22日(土)～ 9月 3日(日)

懐かしい生活用具や写真などを用いて、高齢者の認知症予防や生きがいづくりとして近年注目されている回想法と栃木県立博物館における活動としての回想法セットを紹介するとともに夏の生活用具を展示した。また「夏の思い出」と「東京オリンピックのころの思い出」を来館者から任意でアンケートに記入してもらい、張り出し展示を行った。

（担当 人文課：木村真理子・篠崎茂雄・石井和帆）

「おじいさんやおばあさんの子どものころの暮らし」

11月23日(木)～平成30年 4月 8日(日)

昭和20～40年代頃の生活用具とおもちゃを中心に、大きく「衣」、「食」、「住」、「遊び」に分けて展示をした。特に小学校3・4年生が社会科で学習する内容を意識して、昭和30年代以降に普及した電化製品などの展示も行い、生活用具の変化が分かるように努めた。また、小学校3・4年生の学習理解の促進を図るために資料の体験コーナーを設けた。

さらに例年の同テーマ展で展示されている「人の一生」の内容を拡大、充実するなど展示の一部刷新を行った。

加えて会期中の1～3月の毎週土曜日には栃木県民話の会連絡協議会の協力で民話語りも行った。

(担当 人文課：石井和帆・篠崎茂雄)

「栃木の山の暮らし」

1月 6日(土)～平成30年 4月 8日(日)

狩猟用具、木杓子、木鉢、日光曲げ物、建築用材、炭焼などの生産用具をとおして、日光市や鹿沼市など山間地に生きる人々の暮らしを紹介した。会期中に展示解説を行った。

(担当 人文課：篠崎茂雄・石井和帆)

(3) 考古部門

「巡回展 栃木の遺跡」

7月22日(土)～ 9月 3日(日)

県内における発掘調査によって得られた様々な資料から、郷土の祖先の暮らしを振り返るとともに、調査成果をより多くの方々に理解していただくことを主旨として展示を行った。今年度は規模を縮小し、以下の構成で実施した。

①共通展示遺跡…6遺跡

②博物館近くの遺跡…3遺跡

③大学生が栃木にやってきた

…東京学芸大学・茨城大学・

國學院大學栃木短期大学の調査2遺跡

④土版ぬり絵・土版に名前をつけようコーナー

なお、関連行事として会期中に展示解説を行った。

(担当 人文課：馬籠和哉・中山真理)

(4) 美術工芸部門

「谷文晁と関東の文人画」

1月 6日(土)～ 2月12日(月)

江戸時代後期に活躍した文人画家谷文晁とその門人たちの絵画作品を特集展示した。谷文晁は関東文人画の大成者であり、その弟子たちには下野出身の高久靄厓や水戸出身の立原杏所などがある。また、下野出身の小泉斐と親交があったこと、文晁の前妻や息子らも絵を得意としていたことも併せて紹介した。

関連行事として、会期中に展示解説および学芸員とおき講座を行った。

(担当 人文課：深沢麻亜沙・本田諭)

(5) 自然一般

「ミクロの世界」

11月11日(土)～ 1月21日(日)

身近な昆虫や植物、化石、岩石などを主に電子顕微鏡を使って撮影した写真パネルとその標本を

紹介した。肉眼では見ることが難しい土や水の中で生活する小動物や藻類も拡大した。拡大された世界を覗くことで、生きものが持つ形の面白さや、その形の意味に気付くことができるように展示を工夫した。研究者は分類をする時に顕微鏡を使って生きものの構造を細かく調べる時があるが、研究者がどのような視点からミクロの世界を見ているのかも紹介した。また、観覧者が色々な物を拡大してモニターで観察できる体験コーナーも設置した。

(担当 自然課：坂井広人・林光武・星直斗・岡本直人・栗原隆・河野重範・南谷幸雄・浅羽宏・三瓶ゆりか・薄井香淑・山本航平・鈴木信也)

「あつまれ！自然好き：ポスター発表」

2月 3日(土)～ 3月 4日(日)

「あつまれ！自然好き」は、展示室で行われるポスター発表と講堂で行われる口頭発表によって、栃木県内で自然観察や調査、自然環境の保全活動に取り組んでいる団体に、活動内容やその成果の発表の場を提供し、広く県民に自然を調べる楽しさや自然環境の大切さを知っていただくことを目的としている。口頭発表には12団体、ポスター発表には9団体が参加した。

(担当 自然課：岡本直人)

(6) 動物部門

「ミミズ」

3月17日(土)～平成30年 6月17日(日)

身近でありふれたな生き物であるミミズの体の形や生殖器、消化器、成長、繁殖方法、様々な大きさ・色のミミズ、ミミズの暮らしぶり、餌としてのミミズ、人との関わりについて紹介した。ミミズを見分ける方法として、栃木のミミズの検索表や、栃木の普通種の標本を展示した。さらに、ミミズを詳しく知るための文献として、絵本から専門書まで21冊を手にとり読めるようにした。

(担当 自然課：南谷幸雄)

トピック展示「130年前のカワウソの標本」特別公開

5月 4日(木)・ 5日(金)

収蔵資料活用促進展示「収蔵庫は宝の山！一初公開の化石・鉱物・動植物一」の関連トピック展示として、当館収蔵の2頭のニホンカワウソ胎児の液浸標本を展示した。この標本は、納められていた桐箱の箱書きから、明治17(1884)年3月15

日に現在の群馬県前橋市内の利根川沿いで捕獲された雌から得られたことがわかる貴重な標本である。長時間の展示を行うと退色する恐れがある一方、博物館に資料を保存することの意義を多くの方に理解していただくのに好適な標本であることから、日時を限定して特別に公開した。

(担当 自然課：林光武)

トピック展示「ヒアリ」

7月29日(土)～10月29日(日)

南アメリカ原産で有毒なアリの一種であるヒアリが日本国内で確認されたことを受け、ヒアリの標本を展示し、その姿形や毒、対処法を紹介した。また、在来のアリ類の存在がヒアリの侵入を防ぐと期待されていることから、博物館の周辺に生息する身近なアリ類も標本を展示し紹介した。

(担当 自然課：栗原隆・鈴木信也)

(7) 地学部門

トピック展示「栃木県那珂川町女体山の岩石の年代が初めて明らかになりました！」

1月12日(金)～ 3月29日(木)

那珂川町の女体山付近に分布する馬頭岩体と呼ばれる深成岩のでき方と年代を研究した論文が国際学術誌に掲載されたため、その内容を紹介した。

(担当 自然課：河野重範)

7 各種連携事業

7-1 市町連携事業

博物館が提示したメニューに基づく「地域移動博物館」、「移動講座」、「博物館へ行こう」のほか、市町担当者と協議して開催する「共催展」がある。これらは、前年度に開催が決定し、年間催し物案内で示される事業である。

(1) 地域移動博物館

当館の収蔵資料を利用し、各市町の展示施設で行うテーマ展示である。

－人文課－

○埴輪と鏡

会期：8月5日(土)～9月9日(日)

会場：市貝町立歴史民俗資料館

市貝町内の古墳時代の遺跡、出土遺物の紹介を中心に当館所蔵の鏡と塚山古墳群・鶏塚古墳出土の埴輪を展示した。構成は以下の通りである。

(1) こんなにあるよ！市貝の古墳

(2) 日常生活

(3) 鏡の世界

(4) 埴輪をさぐる

(5) 復元！青銅器

(担当 人文課：馬籠和哉・中山真理)

－自然課－

○エビ・カニ・ヤドカリ

～不思議な甲殻類の世界～

会期：5月20日(土)～7月9日(日)

会場：芳賀町総合情報館

十脚類の分類や体制について、クイズを交えながら紹介した。また、栃木県内に生息する身近な種から外国産の珍しい種まで、多様な資料を展示するとともに、十脚類の生息環境や食用のエビ・カニ、共生などの生態についても紹介した。

(担当 自然課：南谷幸雄)

○たんけん！はっけん！昆虫大集合

会期：7月15日(土)～9月10日(日)

会場：さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－

さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－との共催で、さくら市、栃木県、日本、世界の昆虫を紹介し、地域の小学校でよく見られる昆虫についても展示した。また、海外での昆虫調査の様子や、調査で得られた標本の展示も行った。塗り絵コーナーやさくら市で昆虫採集を体験できるゲーム

「むしゲッチュ！」も設置し、子供たちが楽しめる空間づくりをした。

加えて、昆虫に関する質問コーナーを設置し、質問と回答を掲示した。

(担当 自然課：栗原隆・鈴木信也)

○キノコの世界

会期：7月22日(土)～8月27日(日)

会場：小山市立博物館

栃木県産のキノコの実物標本やレプリカを中心に、「キノコって何?」「キノコのいろいろ」「キノコの生える場所」「役に立つキノコ」「毒キノコ」「キノコのはたらき」「大きなキノコ」「小山市のキノコ」について紹介した。

キノコの実物やキノコが分解した木などに触れるような展示も行い、キノコを身近に感じてもらえるように工夫した。

(担当 自然課：坂井広人・山本航平)

○とちぎのカエルとサンショウウオ

会期：7月22日(土)～9月3日(日)

会場：茂木町ふみの森もてぎ

栃木県産のカエル類13種、イモリ・サンショウウオ類5種の形態や生態の特徴、栃木県内の分布状況などを紹介した。

また、カエルの鳴き声を聞くことができる装置を用い、カエル類の声の多様性も紹介した他、骨と軟骨を染色した透明標本を展示し、カエル類とイモリ・サンショウウオ類の骨格や発生の特徴などを解説した。さらに、県内産カエル類とアカハライモリの生体展示も行った。

(担当 自然課：林光武・浅羽宏)

○わたしたちの生活と鉱物

会期：7月29日(土)～9月3日(日)

会場：益子町中央公民館

車・携帯電話・日用品など、私たちの生活で使っている物の中に使われている鉱物について、標本と製品を並べて紹介した。

鉱物が材料として利用されることを紹介すると共に、リサイクルや環境との共生などのテーマにも触れた。

(担当 自然課：岡本直人・薄井香淑)

○わたしたちの生活と鉱物

会期：9月9日(土)～12月10日(日)

会場：大田原市ふれあいの丘自然観察館

車・携帯電話・日用品など、私たちの生活で使っている物の中に使われている鉱物について、標本と製品を並べて紹介した。

鉱物が材料として利用されることを紹介すると共に、リサイクルや環境との共生などのテーマにも触れた。

(担当 自然課：岡本直人・薄井香淑)

○来て！見て！とちぎ・しおやの植物館

会期：12月9日(土)～1月14日(日)

会場：塩谷町生涯学習センター

栃木県の平野部に広がる最も身近な自然の代表である雑木林、水田、河川などに広く見られる維管束植物について、実物標本やパネルなどで紹介した。また、塩谷町にゆかりのある維管束植物についてもあわせて紹介した。

(担当 自然課：星直斗・三瓶ゆりか)

○みんなの鉱物大百科

会期：12月23日(土)～平成30年4月15日(日)

会場：那須塩原市那須野が原博物館

「みんなの鉱物大百科」と称し、入門者から愛好家まで幅広く楽しむことができる鉱物を紹介した。章ごとに、「鉱物ってなんだろう?」「鉱物の色・形・特徴」「いろいろな鉱物」「鉱物の利用」「とちぎの鉱物」に分けて展示を行った。

(担当 自然課：岡本直人・薄井香淑)

—教育広報課—

○The 博物館

会期：7月22日(土)～8月30日(水)

会場：佐野市郷土博物館

化石や岩石・鉱物、昆虫、脊椎動物、歴史衣装や埴輪など幅広い分野の資料を一挙に公開した。

(担当 教育広報課：柏村勇二・沼尾孝之・

中村智治)

(2) 移動講座

各市町の資料館などを会場とし、学芸員を派遣して実施する講座である。

—人文課—

○壬生町立歴史民俗資料館連携講座「近代日光の軌跡」

期日：5月13日(土)

会場：壬生中央公民館

参加者：36名

8世紀の日光開山以来、日光地域が信仰の対象

から徳川将軍家の聖地、戊辰戦争の戦場、そして外国人の避暑地から観光都市へと移り変わっていく経過について、資料画像などを用いて紹介した。
(担当 人文課：大越惟弘)

○壬生町立歴史民俗資料館連携講座「国際観光都市"N I K K O"を訪れた外国人」

期日：5月27日(土)

会場：壬生中央公民館

参加者：34名

幕末から明治にかけて日光を訪れ、その風景や壮麗な建造物の数々、日光に生きる人々の素朴な暮らしを写真や紀行として残した外国人の人となりや近代日光の開発と発展について、資料画像などを用いて紹介した。

(担当 人文課：大越惟弘)

○那須烏山ジオパーク構想教室「近世下野国の水運について」

期日：1月27日(土)

会場：那須烏山市南那須公民館

参加者：11名

江戸時代的那珂川水運について当該地域付近の風景図等を紹介しながら、その実態がどのようなものであったか解説した。

(担当 人文課：飯塚真史)

○日本の仏教美術について

期日：2月8日(木)

会場：鹿沼市北押原コミュニティセンター

参加者：22名

日本の仏像や仏画の発展の歴史について、関西地方と栃木の作例を比較しながら紹介した。

(担当 人文課：深沢麻亜沙)

－自然課－

○うつのみや生きものつながり講座「植物から生物多様性を学ぼう」

期日：4月29日(土)

会場：宇都宮市立東図書館

参加者：27名

栃木県に生育するサクラ類、外来植物を例に、生物多様性について解説した。また、生物を記録する方法として押し葉標本の作成法について説明し、参加者とともに標本作りを行い、博物館で標本を収集、保管することの意義について解説した。

(担当 自然課：星直斗・三瓶ゆりか・山本航平)

○エビ・カニ・ヤドカリのふしぎ

期日：5月28日(日)

会場：芳賀町総合情報館

参加者：37名

エビ・カニ・ヤドカリの体のつくりや生態、栃木県産のエビ・カニについてスライドを用いて解説した。栃木や茨城の生きたエビ・カニ・ヤドカリを展示・解説した。さらに、移動博物館の展示会場で、標本を見ながらエビ・カニ・ヤドカリの違いについて解説した。

(担当 自然課：南谷幸雄・浅羽宏)

○火山灰は宝石箱

期日：6月10日(土)

会場：那須烏山市南那須公民館

参加者：26名

火山灰に入っている鉱物を洗い出して観察し、火山灰と火山の噴火について解説した。さらに、火山による恩恵や災害についても解説した。

(担当 自然課：岡本直人・薄井香淑)

○しおやサマースクール「夏の草むら昆虫たんけん」

期日：7月29日(土)

会場：塩谷町大宮コミュニティセンター及び上平鬼怒川河川敷

参加者：6名

鬼怒川河川敷でバッタやトンボを採集し、大宮公民館へ持ち帰った。持ち帰った昆虫は観察しながらスケッチし、名前を調べた。最後に、観察できた昆虫のリストを作り、バッタやトンボについて解説した。

(担当 自然課：栗原隆・鈴木信也)

○火山灰は宝石箱

期日：8月1日(火)

会場：栃木市大宮公民館

参加者：26名

火山灰に入っている鉱物を洗い出して観察し、火山灰と火山の噴火について解説した。さらに、火山による恩恵や災害についても解説した。

(担当 自然課：岡本直人・薄井香淑)

○昆虫スケッチをしよう

期日：8月6日(日)

会場：さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－

参加者：21名

勝山公園や鬼怒川の河原で昆虫を採集し、さくら市ミュージアムに持ち帰った。持ち帰った昆虫はそれぞれでよく観察し、スケッチをした。最後に、採集した昆虫の名前を調べ、それぞれについて解説した。

(担当 自然課：栗原隆・鈴木信也)

○サンショウウオのひみつ

期日：8月26日(土)

会場：茂木町ふみの森もてぎ

参加者：18名

サンショウウオ類の形態や生態の特徴、栃木県内における生息状況、県内で行われている保全活動などについてスライドを用いて紹介した。

特に茂木町鮎田のトウキョウサンショウウオの保全活動が他地域の手本となる先進事例であることを解説した。

(担当 自然課：林光武)

○那須烏山ジオパーク構想教室「ジオパークの先例に学ぶ：島原半島世界ジオパーク」

期日：11月11日(土)

会場：那須烏山市南那須公民館

参加者：14名

那須烏山ジオパーク構想への市民の理解を深めるために、島原半島世界ジオパークを一例として取り上げ、見どころだけでなく、ジオパークの運営体制やガイドの養成、拠点施設などについて解説した。

(担当 自然課：河野重範)

○発見！とちぎの鉱物

期日：12月24日(日)

会場：那須塩原市那須野が原博物館

参加者：20名

実際にハンマーで岩石を割り、岩石の中に含まれる鉱物を見た。鉱山で鉱物を見つける方法を説明し、鉱山で拾った岩石を割って、鉱物採集の体験をした。

(担当 自然課：岡本直人・薄井香淑)

—教育広報課—

○太古のロマン！？化石教室

期日：7月31日(月)

会場：足利市山前公民館

参加者：23名

化石についての講義のほかに、化石レプリカ作

成及び原石からの化石取り出しを行った。

(担当 教育広報課：柏村勇二)

○十二単や鎧の着付け体験

期日：8月5日(土)

会場：佐野市郷土博物館

参加者：43名

十二単や鎧(大鎧と当世具足)について、主な特徴や時代背景を解説した後、着付け体験を行った。

(担当 教育広報課：中村智治)

○まが玉をつくろう！

期日：8月12日(土)

会場：佐野市郷土博物館

参加者：27名

勾玉の由来についてクイズを交えて説明した後、滑石を削って勾玉づくりを行った。

(担当 教育広報課：沼尾孝之)

○恐竜のいた時代

期日：2月17日(土)

会場：那須町文化センター

参加者：58名

恐竜とはどんな生き物だったのか、なぜ大繁栄したのかなどを、映像資料や展示資料を用いて概説した。

(担当 教育広報課：柏村勇二)

○化石発掘隊～那須町編～

期日：3月17日(土)

会場：那須町稲沢(野外)、那須町文化センター

参加者：42名

午前中は、地層の観察と化石採取を実施した。化石採取は転石からの採取とした。午後は、採取した化石のクリーニングと同定を行った。

(担当 教育広報課：柏村勇二)

○恐竜のいた時代

期日：3月24日(土)

会場：那須町文化センター

参加者：64名

恐竜とはどんな生き物だったのか、なぜ大繁栄したのかなどを、映像資料や展示資料を用いて概説した。

(担当 教育広報課：柏村勇二)

(3) 博物館へ行こう

市町が用意した輸送手段により博物館に来館し、市町の希望に応じて、解説付き見学メニューや体験学習等を提供する事業である。

平成29年度の実績なし。

(4) 共催展

各市町の展示施設が企画した展示に、当館の収蔵資料の提供と担当学芸員の学術協力を合わせたものである。

－自然課－

○「桜」－サクラもいろいろ－

会期：平成29年 3月25日(土)～ 5月 7日(日)

会場：下野市立しもつけ風土記の丘資料館

天平の丘公園で毎年開催される「天平の花まつり」において、花見だけでなく、サクラの生態についても理解を深めてもらうことを意図した展示である。当館は栃木県を代表する数種の野生のサクラに関する生態写真、分布図、解説文の一部を提供した。

(担当 自然課：星直斗)

○うつのみやの自然パネル展

会期： 4月28日(金)～ 6月 2日(金)

会場：宇都宮市役所・宇都宮市立東図書館・宇都宮市立南図書館

「うつのみや生きものつながりプラン」に基づき、生物多様性に関する理解向上や周知啓発を目的とした展示である。当館は関連した動植物の標本、生態写真、解説文を提供した。

(担当 自然課：南谷幸雄・林光武・星直斗・栗原隆)

－教育広報課－

○恐竜展－恐竜はなぜ大繁栄したのか－

会期： 2月16日(金)～ 3月28日(水)

会場：那須町文化センター

那須歴史探訪館との共催展として、恐竜の形態や生態が、どのように繁栄につながっていったのかを概説する展示構成とした。

(担当 教育広報課：柏村勇二)

(5) 出前講座

市町の施設や各種団体からの依頼を受け、博物館職員が出向いて実施する講座である。年度途中での依頼が多く、年間催し物案内には掲載されない。

－人文課－

○宇都宮東生涯学習センターふれあい塾「明治初期の日光について」

期日： 7月18日(火)

会場：宇都宮市東生涯学習センター

参加者：52名

明治初期の日光が訪日外国人の避暑地として発展していくと同時に彼らの文化が日本に伝わり、現在の観光都市日光の発展へとつながっていく歴史的背景について、資料画像などを用いて紹介した。

(担当 人文課：大越惟弘)

－自然課－

○宇都宮北生涯学習センター 親子自然探検隊

会場：宇都宮市戸祭山緑地

①カブトムシの幼虫を探して育てよう

期日： 4月29日(土)

参加者：49名

宇都宮市戸祭山緑地を一周して、戸祭山緑地の自然環境を知るとともに、カブトムシの幼虫を採集し、飼い方を解説した。

②アメリカザリガニを釣って池の生き物を観察しよう

期日： 6月17日(土)

参加者：42名

戸祭山のトウキョウサンショウウオを保全するため、外来種アメリカザリガニを釣って駆除した

③ミミズってどんな生きもの？～土の中の虫を観察しよう～

期日： 9月16日(土)

参加者：47名

ミミズやザトウムシ、ワラジムシなど、落ち葉の下や土の中の生きものを採集・観察することで、生きものつながりについて解説した。

④カブトムシの寝床を作ろう

期日： 1月20日(土)

参加者：47名

雑木林の維持管理作業として、落ち葉かきを体験し、カブトムシの幼虫の寝床になる落ち葉だまりを作った。冬越しする生きものを紹介し、一年を通じた生きものの変化を紹介した。

(担当 自然課：南谷幸雄)

○東峰保育園「ミミズに親しもう」

身近な生きものであるミミズを知ることが目的に、館内学習と野外学習を組み合わせ実施した。

内容は以下のとおり。

①ミミズを知ろう

期日：5月26日(金)

会場：栃木県立博物館研修室

参加者：13名

ミミズの標本やスライドショーを使いながら、ミミズの基礎的知識について解説した。

②ミミズに親しもう

期日：7月19日(水)

会場：宇都宮市長岡樹林地

参加者：13名

林内でミミズを一緒に探し、ミミズの見つけ方や同定、他の生きものとのつながりについて解説した。

(担当 自然課：南谷幸雄)

○ミミズ先生と行くフィールドワーク！～ミミズなどの土壌動物に出会う～

期日：8月1日(火)

会場：宇都宮市長岡樹林地

参加者：14名

NPO団体マザーズガーデン～子どもワクワク教室「あすなろ」～による観察会として、ミミズやザトウムシなど、落ち葉の下や土の中の生きものを採集・観察することで、生きものつながりについて解説した。

(担当 自然課：南谷幸雄)

○宇都宮市サンショウウオ保全活動体験教室

宇都宮市の天然記念物に指定されているトウキョウサンショウウオを通して、身近な水辺環境について学び、希少種の保全活動を実地に体験する講座をグリーントラストうつつのみやと共同で開催した。内容は以下のとおり。

①アメリカザリガニ捕り

期日：10月21日(土)

会場：宇都宮市戸祭山緑地

参加者：22名

トウキョウサンショウウオの産卵場所に侵入し増加してしまった外来種アメリカザリガニの駆除作業を行った。

②サンショウウオ保全活動説明会

期日：12月9日(土)

会場：宇都宮市役所

参加者：35名

宇都宮市戸祭山緑地に生息するトウキョウサンショウウオの生態について説明し、そこで行われ

ている保全活動とその効果について解説した。

③トウキョウサンショウウオ救出作戦

期日：3月17日(土)

会場：宇都宮市戸祭山緑地

参加者：25名

宇都宮市戸祭山緑地で、コンクリート製U字溝に落ちてしまったトウキョウサンショウウオを拾い上げ、産卵場所の水路に移す作業を行った。あわせてアメリカザリガニの駆除作業とトウキョウサンショウウオの卵囊の観察を行った。

(担当 自然課：林光武)

○ミミズ先生と行くフィールドワーク！～土の中の生きものを探そう～

期日：11月18日(土)

会場：栃木県中央公園・栃木県立博物館研修室

参加者：31名

NPO団体マザーズガーデン～子どもワクワク教室「あすなろ」～による観察会として、ミミズやムカデ、トビムシ、ササラダニなど、落ち葉の下や土の中の生きものを採集・観察することで、生きものつながりについて解説した。

(担当 自然課：南谷幸雄)

○生き物がつくる鉱物～真珠～

期日：11月18日(土)

会場：佐野市葛生化石館

参加者：30名

生物がつくる鉱物について、アコヤ真珠と淡水真珠を教材として、それらの性質や構造、基礎的な鑑別方法を学ぶ。また、真珠養殖場から取り寄せたアコヤ貝から真珠を取り出す体験も行った。

(担当 自然課：河野重範)

○日光パークボランティア研修会「外来種と在来種について考える」(環境省主催)

期日：11月25日(土)

会場：日光市交流促進センター

参加者：29名

日光パークボランティアが除去を行っている外来植物「ハルザキヤマガラシ」について、類似する在来植物「ヤマガラシ」との比較を通じた解説を行った。比較では当館収蔵標本を利用した。また、除去活動における問題点や今後の課題について意見交換を行う中で、奥日光における外来植物除去のあり方について考える機会を提供した。

(担当 自然課：星直斗)

○シルバー大学「とちぎの大地と自然」
シルバー大学校の一講座として、栃木県の大地の成り立ちと、栃木県の自然について解説した。

①期日：12月19日(火)

会場：シルバー大学校北校

参加者：26名

②期日：1月19日(金)

会場：シルバー大学校南校

参加者：35名

③期日：1月24日(水)

会場：シルバー大学校中央校

参加者：31名

④期日：1月25日(木)

会場：シルバー大学校中央校

参加者：21名

(担当 自然課：坂井広人・河野重範・南谷幸雄)

○第6回公開シンポジウム「深海の科学」

期日：2月10日(土)

会場：帝京大学宇都宮キャンパス

参加者：152名

深海をテーマにしたシンポジウムの中で、「とちぎの海と化石」と題し、県内の海の地層やそこから見つかる海生生物について紹介する講演を行った。

(担当 自然課：河野重範)

○「那須烏山ジオパーク構想ガイド養成講座」

那須烏山ジオパーク構想推進協議会と連携し、那須烏山の大地の魅力について、市民目線で解説できるガイドの養成講座を3回実施した。各回ともに、はじめに室内で講師からジオサイトの地質学的な解説を受け、その後市内のジオサイト候補地を巡った。

①期日：2月11日(日)

会場：荒川地区

参加者：17名

(担当 自然課：林光武・河野重範)

②期日：2月17日(土)

会場：神長地区

参加者：19名

(担当 自然課：河野重範)

③期日：2月24日(土)

会場：滝田、中山地区

参加者：24名

(担当 自然課：河野重範)

○菌類の不思議－キノコと地衣類－

期日：3月4日(日)

会場：日光だいや川公園 緑の相談所

参加者：12名

キノコの分類の方法やその生態、食品としての利用のされ方について解説した。身近な環境で観察できる地衣類についても紹介した。

(担当 自然課：坂井広人)

○菌類の不思議－キノコと地衣類－

期日：3月25日(日)

会場：栃木県中央公園 緑の相談所

参加者：66名

食中毒を起こすキノコや、環境中でのキノコの役割、中央公園で発生するキノコについて解説した。市街地でも観察できる地衣類についても紹介した。

(担当 自然課：坂井広人)

－教育広報課－

○化石発掘隊～中級編～

期日：5月13日(土)

会場：那須塩原市金沢(野外)、

那須塩原市那須野が原博物館

参加者：32名

午前中は、地層の観察と化石採取を実施した。化石採取は転石からの採取とした。午後は、観察した地層を中心に栃木県の地質について概説した後、採取した化石のクリーニングと同定を行った。

(担当 教育広報課：柏村勇二)

○恐竜教室

期日：8月2日(水)

会場：宇都宮市立南図書館

参加者：42名

恐竜の体つきや生活の仕方など、その特徴について概説した。レプリカ作りも行った。

(担当 教育広報課：柏村勇二)

○化石を探そう

期日：10月15日(日)

対象：足利市渡良瀬グリーンプラザ

参加者：216名

木の葉石原石からの化石取り出しを行った。

(担当 教育広報課：柏村勇二)

○ジオガイドin那須烏山

期日：7月30日(日)

会場：那須烏山市

参加者：39名

複数のジオサイトを巡りながら、那須烏山ジオパーク構想について概説した。

(担当 教育広報課：柏村勇二)

(6)「高原山自然探検隊」

科学技術振興機構支援「地域科学館連携支援事業」の継続活動であり、高原山の自然総合学術調査の成果の地元への還元という意味も持つ事業である。NPO法人星ふる学校くまの木との連携活動として、くまの木自然クラブの活動を支援した。

①田んぼの生きもの調べ

期日：4月22日(土)

会場：星降る学校くまの木

参加者：42名

(担当 自然課：林光武)

②化石探し

期日：11月18日(土)

会場：矢板市兵庫畑(野外)、星ふる学校くまの木

参加者：39名

午前に地層の観察と化石採取を行い、午後は各自採取した化石のクリーニングと同定を行った。

(担当 教育広報課：柏村勇二)

③活動・研究発表会「あつまれ！自然好き」で発表

期日：2月25日(日)

会場：栃木県立博物館

参加者：20名

(担当 自然課：岡本直人)

7-2 博学連携事業

小学校、中学校、高等学校の教育課程と関連した授業のほか、親子学習会や文化祭など学校行事への支援を行っている。また、教育委員会や教科部会等と連携した教員研修や職場体験を実施している。

(1) 学校移動博物館

当館では、小学校・中学校の教育課程と関連をもつ展示に努めており、校外学習及び遠足等で来館する学校が多い。栃木県内はもちろん東京や埼玉・茨城と関東各都県の学校の来館も数多く見ら

れる。

学校を視野に入れた展示では、テーマ展「おじいさんやおばあさんの子どものころの暮らし」を毎年開催している。このテーマ展開催中は県内の小学3年生を中心に学校単位で博物館を訪れ、学校での学習のより充実・発展をめざしてこのテーマ展を見学している。

また、毎年県内の学校を対象に学校移動博物館を開催している。県内7教育事務所管内からそれぞれ1校、盲・聾・特別支援学校から1校の8校を推薦してもらい実施している。展示する資料は、教育課程との関連性の高いものを中心に考古・民俗・昆虫・化石・鉱石・哺乳類の各分野の約300点を展示している。

実施した学校の教員からは、博物館へ行く機会の少ない児童・生徒が多いなか博物館が学校に来てくれて、子どもたちに多くの資料を、実際に目にしたり触れたりできる機会を与えてくれるこの企画は、ありがたいとの声をいただいている。

①期日

5月9日～5月12日 大田原市立親園小学校

5月23日～5月26日 那須烏山市立荒川小学校

6月6日～6月9日 市貝町立市貝小学校

7月4日～7月7日 足利市立山辺小学校

9月12日～9月15日 宇都宮市立岡本北小学校

9月26日～9月29日 栃木県立益子特別支援学校

10月3日～10月6日 野木町立南赤塚小学校

11月7日～11月10日 日光市立大桑小学校

②展示構成と資料

(ア) 展示

- ・考古コーナー 「縄文・古墳時代の人たちが使った道具」(打製石器、矢じり、土器、埴輪、銅鐸等約30点)
- ・民俗コーナー 「おじいさんやおばあさんがうまれたころに使われていた道具」(火鉢・鉄瓶・手押しポンプ等約40点)「お父さんやお母さんがうまれたころに使われていた道具」(電気炊飯器・白黒テレビ等約45点)
- ・昆虫コーナー 「栃木県のカブトムシとクワガタムシ」「近くの雑木林に行ってみよう」等約35点
- ・化石コーナー アンモナイト、ナウマンゾウの歯、始祖鳥、オルニトレステス等約75点
- ・鉱石コーナー 自然銅、天青石、縞状鉄鉱等約25点
- ・哺乳類コーナー 剥製(カモシカ幼獣等)、毛

皮（ツキノワグマ等）、頭骨（ニホンザル等）、
ウサギ全身骨格 約15点

（イ）体験学習

・石臼をひいてみよう

石臼を回し、大豆から黄粉を挽いてみる学習で、
小学校3・4年生の学習内容に関連している。

・火を起こしてみよう

舞hiri式発火具を使って火を起こし、昔の人が
火を起こすためにいかに苦労したかを体験する。

（ウ）全体会

・全体会Ⅰ

化石と昆虫のふしぎ（1～3年生対象）

学校の希望により実施する。

・全体会Ⅱ

見てみshow!－衣装の歴史－（全学年対象）
古代官吏の衣装や平安装束、武士の鎧を試着し
てみて、当時の武士や貴族の気分を味わうと
ともに衣装の変遷を紹介する。

※全体会Ⅰを実施した場合は、全体会Ⅱは4～6
年生が対象となる。

（2）出前授業

小中高等学校等において、主に児童・生徒を対
象とした講座である。

－自然課－

○身近な地衣類

①期日：12月 8日(金)

会場：栃木県立壬生高等学校

参加者：14名

②期日：12月13日(水)

会場：栃木県立小山北桜高等学校

参加者：8名

③期日：1月31日(水)

会場：栃木県立佐野松桜高等学校

参加者：39名

（担当 自然課：坂井広人）

○「生物多様性を保全する」ってどういうこと？

期日：12月13日(水)

会場：栃木県立宇都宮北高等学校

参加者：25名

生物多様性とは何か、それを保全するとはどう
いうことなのか、なぜ保全しなければならないの
かについて解説した。さらに、保全対策を考える
時に重要なことや保全の現場で起こるさまざまな
問題などについて具体的に紹介した。

（担当 自然課：林光武）

○校庭の樹木の観察

期日：3月27日(火)

会場：栃木県立宇都宮女子高等学校

参加者：10名

（担当 自然課：星直斗）

－教育広報課－

①博物館体験プログラムの出前

館内で実施している体験的活動プログラムを学
校側の希望により館外（対象校）でも実施した。

○貴族のくらし（平安装束着付け）

6月13日(火) 宇都宮市立明保小学校6年生106名

8月29日(木) 栃木県立大田原女子高等学校

2年生43名

（担当 教育広報課：沼尾孝之・中村智治・

解説嘱託員）

○武士と鎧（鎧の着付け）

9月 5日(火) 宇都宮市立明保小学校6年生106名

9月 7日(木) 宇都宮市立宝木小学校6年生137名

（担当 教育広報課：沼尾孝之・中村智治・

解説嘱託員）

○「貴族のくらし」「武士と鎧」（十二単・鎧着付
け体験）

5月18日(木) 日光市立大沢小学校6年生41名

5月19日(金) 鹿沼市立みなみ小学校6年生35名

9月 1日(金) 宇都宮市立姿川第一小学校6年生

145名

（担当 教育広報課：沼尾孝之・中村智治・

解説嘱託員）

○昔をしらべる（石臼・天秤棒・蓄音機）

12月19日(火) 下野市立薬師寺小学校3年生58名

12月20日(水) 下野市立祇園小学校3年生66名

1月24日(水) 宇都宮市立陽東小学校3年生94名

1月30日(火) 茂木町立逆川小学校3年生18名

2月 1日(木) 栃木市立大宮南小学校3年生15名

2月 7日(水) 宇都宮市立築瀬小学校3年生81名

2月 8日(木) 茂木町立茂木小学校3年生46名

（担当 教育広報課：沼尾孝之・中村智治・

学芸嘱託員・解説嘱託員）

○昔をしらべる（石臼・天秤棒）

1月26日(金) 宇都宮市立姿川第一小学校167名

（担当 教育広報課：沼尾孝之・中村智治・

学芸嘱託員・解説嘱託員）

○昔をしらべる（石臼・天秤棒・火起こし）
 11月28日(火) 益子町立益子小学校3年生60名
 12月 8日(金) 下野市立石橋小学校3年生84名
 12月12日(火) 宇都宮市立雀宮東小学校3年生
 57名
 12月13日(火) 宇都宮市立昭和小学校3年生46名
 12月15日(金) さくら市立氏家小学校3年生130名
 1月17日(水) 宇都宮市立城山中央小学校3年生
 50名
 (担当 教育広報課：沼尾孝之・中村智治・
 学芸嘱託員・解説嘱託員)

○昔をしらべる（石臼・天秤棒・蓄音機・火起こし）
 1月31日(水) 日光市立下原小学校3年生32名
 (担当 教育広報課：沼尾孝之・中村智治・
 解説嘱託員)

○勾玉づくり
 12月 2日(土) 宇都宮市立豊郷北小学校
 1～6年生52名
 (担当 教育広報課：清宮正道)

②博物館資料を活用した出前授業
 学校側の希望に沿うことができる場合、体験活動以外にも、貸出資料を活用した授業をコーディネートして出前授業を行った。
 6月13日(火) 大田原市立親園小学校6年生25名
 社会科「縄文時代のくらし」に関する学習
 (担当 人文課：馬籠和哉・中山真理)
 11月22日(水) 介護支援センター元気あっぷクラブ25名
 貴族の暮らしと武士と鎧および回想法セットを用いた講座
 (担当 教育広報課：沼尾孝之・解説嘱託員)
 12月 5日(火) 下野市立石橋小学校6年生35名
 12月 8日(金) 下野市立石橋小学校6年生50名
 社会科「戦争中の人々のくらし」に関する学習を、1クラスずつ2日に分けて実施した。2日目は下野市の教職3年目研修として、研究授業をTTで行った。
 (担当 教育広報課：沼尾孝之、
 人文課：大越惟弘)
 2月15日(木) 宇都宮市立陽東小学校3年生94名
 社会科「市に残る古くから受け継がれてきたもの」に関する学習
 (担当 教育広報課：沼尾孝之・中村智治)

③校外学習の支援
 ○地層と化石
 9月29日(金) 宇都宮市立清原南小学校6年生
 65名
 11月24日(金) 宇都宮市立瑞穂台小学校6年生
 80名
 小学校理科の出前授業として、地層の観察、火山灰や化石の採取などを行った。
 (担当 教育広報課：柏村勇二)

○木の葉石（塩原湖成層の観察、化石取り出し体験）
 5月26日(金) 暁星小学校6年生 96名
 9月 8日(金) 大田原市立西原小学校3年生144名
 (担当 教育広報課：柏村勇二)

④講師派遣
 ○大地のつくりとはたらき
 10月 4日(水) 宇都宮市立清原南小学校6年生
 65名
 11月 6日(月) 日光市立今市第三小学校6年生
 79名
 11月13日(月) 宇都宮市立国本中央小学校6年生
 81名
 11月17日(金) 宇都宮市立宝木小学校6年生
 136名
 12月 1日(金) 宇都宮市立瑞穂台小学校6年生
 80名
 小学校6年生理科の出前授業として実施した。地層、化石についての講義のほか、原石からの化石取り出し体験を行った。
 (担当 教育広報課：柏村勇二)

○化石発掘隊
 8月24日(木) まこと幼稚園 After School
 夢の学舎 32名
 放課後子ども教室の夏休み特別企画として、地層観察、化石採取、化石クリーニング、同定および地層や化石に関する講義を行った。
 (担当 教育広報課：柏村勇二)

○とちぎの木の葉石
 12月 2日(土) 宇都宮市立西が岡小学校3年生
 154名
 小学校3年生の親子学習会として実施した。塩原湖成層と産出化石について概説した後、木の葉原石から化石の取り出しを行った。

(担当 教育広報課：柏村勇二)

○流れる水のはたらき

11月10日(金) 宇都宮市立上河内中央小学校5年生
37名

11月20日(月) 宇都宮市立清原南小学校5年生
79名

小学校5年生理科の出前授業として実施した。上流や中流、下流での川の様子について、映像資料を用いて概説した後、校庭に作った山、川、海モデルに水を流しながら、流れる水のはたらきを観察した。

(担当 教育広報課：柏村勇二)

○化石を探る

9月 6日(水) 宇都宮市立宝木中学校1年生133名

2月 1日(木) 鹿沼市立板荷中学校 16名

中学校1年生理科の出前授業として実施した。化石から何がわかるのかについて概説した後、実際に化石を観察しながら、その化石に含まれる情報を読み取り、意見交換しながら仮説を練り上げた。

(担当 教育広報課：柏村勇二)

○地層と化石

5月27日(火) 宇都宮海星女子学院中学校1~3年生
44名

中学校1~3年生の特設理科の出前授業として、地層や化石についての講義と、原石からの化石取り出し体験を行った。

(担当 教育広報課：柏村勇二)

○烏山学・那須烏山ジオパーク構想

10月25日(水)・26日(木) 栃木県立烏山高等学校
1年生 17名

1日目に那須烏山市ジオパーク構想について概説し、2日目はジオサイト見学を行った。

(担当 教育広報課：柏村勇二)

○化石からみた生物の進化

10月19日(木)・20日(金) 宇都宮市立河内中学校
1年生 146名

12月12日(火) 栃木県立上三川高等学校3年生
48名

中学校及び高等学校の生物の出前授業として実施した。化石資料を用いながら、生物の進化について概説した。

(担当 教育広報課：柏村勇二)

(3) 来て！見て！学ぼう博物館！

平成28年度から新規事業として、諸事情から来館できない県内の小規模校を対象に、小学校第6学年理科単元「大地のつくりと変化」の学習活動の充実を図るために県バスを利用して博物館を活用してもらう事業であり、今年度は9校受け入れた。

10月27日(金) 鹿沼市立上南摩小学校 13名

11月10日(金) 鹿沼市立清洲第二小学校 11名
栃木市立真名子小学校 9名

11月14日(火) 真岡市立山前南小学校 17名

11月30日(木) 大田原市立須賀川小学校 8名
矢板市立乙畑小学校 14名

12月 1日(金) 宇都宮市立国本西小学校 10名

日光市立清滝小学校 13名

12月 7日(木) 茂木町立中川小学校 16名

(担当 教育広報課：柏村勇二・沼尾孝之・中村智治)

(4) 博物館体験プログラム

学校等の教育関連施設の当館見学に合わせて、展示解説のほかに、体験的な活動を実施できるプログラムを提供している。

○貴族のくらし(平安装束の着付け)

6月 2日(金) シルバー大学校中央校 33名

○貴族のくらし、武士の暮らし(十二単・鎧着付け)

5月23日(火) 宇都宮市立白沢小学校 64名

7月12日(水) 宇都宮市まちかどの学校 24名

9月15日(金) 日光市立足尾小学校 11名

11月17日(金) 塩谷町立大宮小学校 26名

11月17日(金) 真岡市立東沼小学校 9名

○昔をしらべる(石臼)

5月18日(木) 栃木県立栃木特別支援学校

ひばり分教室 8名

○昔をしらべる(石臼・火起こし)

8月 3日(木) 柘児童クラブ 39名

12月14日(木) 上三川町立上三川小学校 104名

○昔をしらべる(天秤棒・火起こし)

12月 6日(火) 宇都宮市立細谷小学校 95名

- 昔をしらべる（石臼・水桶・火起こし）
10月31日(火) 宇都宮市立陽南小学校 92名
1月23日(火) 宇都宮市立御幸小学校 88名
- 昔をしらべる（水桶・火起こし）
1月10日(水)・11日(木)
栃木県立特別支援学校宇都宮青葉高等学園
99+99名
- 昔をしらべる（石臼・火起こし・蓄音機）
3月27日(火) まこと幼稚園学びの学舎 21名
- 昔をしらべる（昔の道具）
11月29日(水) 栃木県立盲学校中学部 6名
- 勾玉づくり
6月 6日(火) 真岡市立大内西小学校 21名
6月 8日(木) 日光市立栗山小学校 4名
6月13日(火) 宇都宮市立田原西小学校 65名
12月13日(水) 宇都宮市立晃陽中学校 9名
- 化石発掘体験
7月 6日(木) 日光市大沢地区特別支援学級交流会
4名
- 化石ひろい体験
10月20日(金) 栃木県立岡本特別支援学校 6名
- 落ち葉ステンドグラスづくり
10月21日(土) 宇都宮市西生涯学習センター
42名
(担当 教育広報課：沼尾孝之・中村智治・
学芸嘱託員・解説嘱託員)
- (5) スーパー・サイエンス・ハイスクール(SSH)
SSHは高等学校等において、先進的な理数教育の実施や創造性、独創性を高める指導方法、教材開発等の取り組みを支援する文部科学省の施策である。
—教育広報課—
今年度は、地学分野での野外観察法や採取試料の処理と活用のほか、ジオパーク構想の取り組みに関して、現地視察を実施した。
期日：6月24日(土)
対象：栃木県立足利高等学校1, 2年生 41名
地層観察、木の葉化石園見学、化石採取（那

- 須塩原市上塩原、金沢)
期日：6月25日(日)
対象：栃木県立足利高等学校1, 2年生 41名
講義、化石クリーニング、同定
期日：9月 2日(土)
対象：埼玉県立不動岡高等学校1～3年生 31名
地層観察、木の葉化石園見学、化石採取（那須塩原市上塩原、金沢）
期日：11月19日(日)
対象：埼玉県立不動岡高等学校1～3年生 31名
地層観察、化石採取（那須烏山市南大和久）、龍門の滝および洞窟酒蔵の見学
(担当 教育広報課：柏村勇二)

- (6) マイ・チャレンジ推進事業（社会体験学習）
①マイ・チャレンジ推進事業（社会体験学習）
当館ではこれまでも職業体験学習を受け入れてきたが、平成14年度より県全体で展開することになったマイ・チャレンジ推進事業をとおして、学校移動博物館等を除いた期間で社会体験活動を受け入れている。
本年度の受入れは、9校、27名が活動に参加した。
主な活動内容
第1日目 教育広報課（博物館の説明・館内見学）
教育広報課（解説員業務補助体験）
第2日目 人文課（資料の整理等）
教育広報課（解説員業務補助体験）
第3日目 自然課（資料の整理等）
教育広報課（普及教育活動補助体験）
第4日目 教育広報課（普及教育活動補助体験）
情報交換会
9月26日(火)～28日(木)
文星芸術大学附属中学校 3名
10月16日(月)～20日(金)
宇都宮市立宝木中学校 5名
10月23日(月)～27日(金)
宇都宮市立宮の原中学校 5名
11月 7日(火)～10日(金)
宇都宮市立泉が丘中学校 3名
宇都宮市立国本中学校 2名
11月14日(火)～17日(金)
宇都宮市立陽南中学校 3名
11月16日(木)・17日(金)
宇都宮大学教育学部附属中学校 2名
11月28日(火)～12月 1日(金)

宇都宮市立若松原中学校 2名
12月 5日(火)～ 8日(金)
宇都宮市立陽北中学校 2名
(担当 教育広報課：中村智治ほか)

②インターンシップ

高校生に対しては、就業意識を育成するために実施されるインターンシップの実習生徒の受け入れを行っているが、本年度の受け入れはなかった。

(7) 体験しまSHOW博物館！

博物館主催の教員を対象とした講座で、博物館資料の貸出や出前授業実施を前提に、資料の取り扱い方や授業での活用の仕方などについて学んでもらった。

○体験しまSHOW博物館！（衣装編）

期日： 5月13日(土)
会場：博物館研修室（参加者6名）
十二単を中心に古代の衣装や関連の資料を用いながら実際の活用例を紹介した。
(担当 教育広報課：沼尾孝之・中村智治・
解説嘱託員)

○体験しまSHOW博物館！（理科地学分野編）

期日： 8月11日(金)
会場：博物館研修室
参加者：18名
地学系分野の貸出資料（教育広報課）を中心に小中学校での活用例や出前授業の実践例を紹介した。
(担当 教育広報課：柏村勇二)

○体験しまSHOW博物館！（昔の道具編）

期日： 8月26日(土)
会場：博物館研修室
参加者：1名
民俗系分野の貸出資料を中心に小学校での活用例や出前授業の実践例を紹介した。
(担当 教育広報課：沼尾孝之)

(8) 教職10年目社会体験研修等の実施

当館では、教職経験9年目、10年目の教員を対象に平成15年度から導入された、学校以外の施設や企業等における社会体験研修の希望者を受け入れ実施した。

主な活動内容

教育広報課での研修
博物館業務の説明、解説員業務の補助・体験、普及教育活動補助
学芸部各課での研修
資料の取り扱い方の研修、学芸員業務の補助
7月17日(月) 日光市立南原小学校 2名
7月27日(木)・28日(金) 宇都宮市立陽西中学校 1名
8月 2日(水)・3日(木) 宇都宮市立雀宮東小学校 1名
8月 3日(木) 栃木県立鹿沼商工高等学校 1名
8月10日(木) 栃木県立のざわ特別支援学校 2名
栃木市立大平西小学校 1名
8月18日(金) 真岡市立亀山小学校 1名
(担当 教育広報課：中村智治ほか)

(9) 教育委員会との連携

－教育広報課－

①栃木県総合教育センターとの連携

栃木県総合教育センターと協力し、学校教職員向けに教職員研修への講師派遣や博物館利用案内等を実施した。

・講師派遣

期日： 8月21日(月)
研修名：専門研修2「理科専門研修Ⅰ
～地学分野の指導法～」

参加者：43名

那須塩原市で湖成層の地層観察と地層はぎ取り標本の作製のほか、木の葉化石園の見学を行った。

(担当 教育広報課：柏村勇二)

・博物館利用案内の広報

期日： 6月 9日(金)
研修名：基本研修「教職2～5年目研修・
養護2～5年目研修（高・特）〔5年目〕」
(担当 教育広報課：中村智治)

期日： 7月24日(月)
研修名：基本研修「中堅教諭等資質向上研修
（高・特）地歴科・理科」
(担当 教育広報課：柏村勇二・沼尾孝之)

期日： 8月17日(木)
研修名：基本研修「初任者・新規採用養護教諭
研修（小・中）」
(担当 教育広報課：沼尾孝之)

期日： 8月18日(金)
研修名：基本研修「初任者研修（小・中）」

(担当 教育広報課：中村智治)

期日：9月11日(月)

研修名：基本研修「教職2～5年目研修(小・中)
〔5年目〕」

(担当 教育広報課：中村智治)

期日：9月25日(月)

研修名：基本研修「中堅教諭等資質向上研修
(小・中)」

期日：12月14日(木)

研修名：基本研修「初任者研修(高・特)」

(担当 教育広報課：沼尾孝之)

(10) 教科部会等との連携

ー自然課ー

高校の理科部会と連携し、講演や野外観察などを実施した。

期日：8月4日(金)

参加者：20名

研修名：日本生物教育会第72回全国大会 栃木大会2017「環境教育のヒントを『わたらせ』から」

(担当 自然課：星直斗)

期日：8月4日(金)

参加者：20名

研修名：日本生物教育会第72回全国大会 栃木大会2017Gコース身近な地衣類の観察

(担当 自然課：坂井広人)

期日：2月17日(土)

参加者：10名

研修名：身近な地衣類の観察ー地衣類の見分け方や生育環境を知るー

(担当 自然課：坂井広人)

ー教育広報課ー

小中学校及び高校の理科部会や理科同好会などと連携し、講演や野外観察などを実施した。

期日：7月29日(土)

研修名：宇都宮市理科同好会

参加者：10名

那須塩原市で湖成層の地層観察と地層はぎ取り標本の作製のほか、木の葉化石園の見学を行った。

(担当 教育広報課：柏村勇二)

期日：8月1日(火)

研修名：宇都宮市小学校理科部会研修会

参加者：86名

教材作成の研修として、火山モデルを作成し

た。

(担当 教育広報課：柏村勇二)

期日：8月4日(金)

研修名：日本生物教育会第72回全国大会栃木大会
参加者：75名

化石資料に基づいた生物の進化について概説した。

(担当 教育広報課：柏村勇二)

期日：8月5日(土)

研修名：日本生物教育会第72回全国大会栃木大会
参加者：15名

那須塩原市の湖成層と海成層を観察したほか、木の葉化石園見学、化石採取を行った。

(担当 教育広報課：柏村勇二)

期日：8月9日(水)

研修名：那須烏山市中学校理科部会研修会
参加者：17名

那須烏山ジオパーク構想について、ジオサイトを巡りながら概説した。

(担当 教育広報課：柏村勇二)

期日：8月10日(木)

研修名：教員免許更新講習

参加者：25名

午前は那須烏山市及び那珂川町で海成層の地層観察、化石採取を行った。午後は化石クリーニングと同定のほか、地学単元の指導法について概説した。

(担当 教育広報課：柏村勇二)

(11) とちぎ子どもの未来創造大学

栃木県教育委員会が主催する事業で、子どもたちの学力向上の基礎作りを目的とする。本物に触れる学習機会を提供することで、学ぶ意欲や主体的に学習に取り組む姿勢の涵養をめざす事業である。小4～中3を対象とした専門的な講座で、栃木県の各種専門機関や民間事業所が、体験的な講座を中心に開設している。

○化石三昧

期日：7月22日(土)・23日(日)

参加者：93名

期日：10月28日(土)・29日(日)

参加者：56名

第1日目に野外での地層観察、化石採取、第2日目に化石クリーニング、同定および地層や化石に関する講義を行った。

(担当 教育広報課：柏村勇二)

○恐竜教室

期日：7月28日(金)

参加者：15名（出前講座・佐野市中央公民館で実施）

期日：8月11日(金)

参加者：71名

期日：10月7日(土)

参加者：61名

期日：12月9日(土)

参加者：23名（出前講座・大田原市生涯学習センターで実施）

恐竜の体つきや生活の仕方など、その特徴について概説した。レプリカ作りも行った。

（担当 教育広報課：柏村勇二）

○化石を探る

期日：11月4日(土)

参加者：46名

化石に含まれる情報を自分なりに読み取り、意見交換しながら仮説を練り上げた。

（担当 教育広報課：柏村勇二）

○塩原木の葉石

期日：10月14日(土) 午前の部

参加者：75名

期日：10月14日(土) 午後の部

参加者：101名

塩原湖成層や木の葉石について概説し、原石から化石の取り出しを行った。

（担当 教育広報課：柏村勇二）

○勾玉をつくろう

期日：8月1日(火)

参加者：54名

期日：8月9日(水)

参加者：20名（出前講座・佐野市中央公民館で実施）

期日：10月28日(土)

参加者：20名（出前講座・益子町中央公民館で実施）

期日：11月18日(土)

参加者：29名（出前講座・宇都宮市立上河内図書館で実施）

期日：12月10日(日)

参加者：37名（出前講座・日光市豊岡公民館で実施）

勾玉の由来についてクイズを交えて説明した

後、滑石を削って勾玉づくりを行った。

（担当 教育広報課：沼尾孝之・中村智治・

解説嘱託員）

○十二単と鎧を着てみよう

期日：10月14日(土)

参加者：40名（出前講座・芳賀町総合情報館で実施）

期日：10月21日(土)

参加者：15名（出前講座・那珂川町なす風土記の丘資料館で実施）

期日：11月11日(土)

参加者：49名（出前講座・宇都宮共和大学那須キャンパスで実施）

期日：12月2日(土)

参加者：64名

衣装や鎧の変遷と当時の生活の様子や時代背景について解説した後、十二単と鎧の着付けを行った。

（担当 教育広報課：沼尾孝之・中村智治・

解説嘱託員）

○特別講座「県内見学ツアー」

期日：1月20日(土)

会場：栃木県立博物館研修室

参加者：24名

平成29年度のとちぎ子どもの未来創造大学で、4単位以上取得した児童生徒を対象に実施。

午前は、開講式・バックヤードツアー後、「君も考古学者」と題して、本物の土器に触れて、観察して、「拓本」をとった。

午後は、「考古学でモノづくり」と題し、3D計測技術を活用してつくったシリコン型をつかって石膏のマグネットを製作した。

（担当 人文課：馬籠和哉）

8 普及教育事業実施状況

(1) 企画展・テーマ展等

ア 企画展

回	名 称	期 間	会 場	入館者数(人)
117	とちぎの山・銚・屋台	4月29日(土)～ 6月15日(木)	展示室 2	15,324
118	大集合！北関東の動植物化石	7月15日(土)～ 8月27日(日)	展示室 2	21,021
119	中世宇都宮氏 －頼朝・尊氏・秀吉を支えた名族－	9月16日(土)～10月29日(日)	展示室 2	20,075
合 計				56,420

イ 収蔵資料活用促進展示

分野	名 称	期 間
自然	自然全般 収蔵庫は宝の山！－初公開の化石・鉱物・動植物－	H29年 3月18日(土)～ 6月18日(日)※1

ウ テーマ展

分野	期 間	名 称
自然	自然全般 11月11日(土)～ 1月21日(日)	ミクロの世界
	自然全般 2月 3日(土)～ 3月 4日(日)	あつまれ！自然好き：ポスター発表
	無脊椎動物 3月17日(土)～H30年 6月17日(日)	ミミズ ※2
人文	考古 7月22日(土)～ 9月 3日(日)	巡回展 栃木の遺跡
	民俗 7月22日(土)～ 9月 3日(日)	地域回想法と博物館
	民俗 11月23日(木)～H30年 4月 8日(日)※2	おじいさんやおばあさんの子どもころの暮らし
	民俗 1月 6日(土)～H30年 4月 8日(日)※2	栃木の山の暮らし
	美工 1月 6日(土)～ 2月12日(月)	谷文晁と関東の文人画
	歴史 2月24日(土)～H30年 4月 8日(日)※2	藤原秀郷と那須与一―伝説の武将の実像に迫る―

エ 季節替わり展示

分野	期 間	名 称
教育 広報課	人文 4月15日(土)～ 5月 7日(日)	端午の節句と鎧編
	人文 7月14日(金)～ 8月 8日(火)	古代の衣装―七夕―編
	人文 8月 9日(水)～ 9月 3日(日)	古代の衣装―衣装の移り変わり―編
	人文 9月 5日(火)～10月31日(火)	宇都宮と百人一首
	自然 10月 1日(日)～12月 5日(火)	大地のつくりと変化
	人文 12月 6日(水)～ 2月14日(水)	昔の道具とくらし編
	人文 2月15日(木)～ 3月 9日(金)	雅な衣装―ひなまつり―編

※1 平成28年度から継続 ※2 平成30年度まで継続

(2) 講演会

ア 企画展記念講演会

演 題	期 日	会場	参加人数(人)	講 師
とちぎの山・鉾・屋台	5月 7日(日)	講堂	93	宇都宮伝統文化連絡協議会 会長 池田 貞夫
赤坂町祭礼記録からみた烏山の山上げ 行事	5月14日(日)	講堂	101	栃木県立博物館名誉学芸員 柏村 祐司
ユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台 行事」	5月28日(日)	講堂	89	元文化庁伝統文化課 菊池 健策
北関東の化石研究最前線	7月30日(日)	講堂	32	元ミュージアムパーク茨城 県自然博物館資料課長 国府田 良樹
中世宇都宮氏の信仰	9月16日(土)	講堂	247	日本女子大学名誉教授 永村 眞
宇都宮氏の歴史と美術①	10月 1日(日)	講堂	173	東京文化財研究所名誉研究員 米倉 迪夫 清泉女子大学教授 山本 勉
宇都宮氏の歴史と美術②	10月22日(日)	講堂	150	大阪産業大学教授 市村 高男 元栃木県立博物館技幹 千田 孝明
合 計			885	

イ 企画展関連講座

演 題	期 日	会場	参加人数(人)	講 師
常磐津公演「将門」	5月21日(日)	玄関ポーチ	418	烏山山あげ保存会
鹿沼の囃子 (ぶっつけの競演)	6月11日(日)	玄関ポーチ	1,115	鹿沼のお囃子保存会
鹿沼の技・鹿沼組子の体験	6月11日(日)	館内オープン スペース	86	吉原木芸
史跡紹介「中世宇都宮氏の興亡のあと をさぐる」	9月23日(土)	館内オープン スペース	195	各市町担当者
合 計			1,814	

ウ 発表会

演 題	期 日	会場	参加人数(人)	講 師
あつまれ！自然好き	2月25日(日)	講堂	138	
合 計			138	

(3) 講座

講座名	期日	会場	参加人数(人)	講師
学芸員とおき講座 「標本となって生まれ変わる植物たち」	4月16日(日)	研修室	6	自然課主任研究員 星 直斗
オープニング講座 「栃木の山・鉾・屋台」	4月29日(土)	講堂	117	人文課長 篠崎 茂雄 人文課研究員 木村真理子
～教員のための博物館研修～ 体験しまSHOW博物館！ 衣装編	5月13日(土)	研修室	6	教育広報課係長 沼尾 孝之 教育広報課主査 中村 智治
学芸員とおき講座 「栃木の祭礼文化」	5月21日(日)	講堂	62	人文課長 篠崎 茂雄 人文課研究員 木村真理子
ミジンコやアオミドロを見てみよう	6月 3日(土)	研修室	9	自然課主任研究員 坂井 広人 自然課学芸嘱託員 山本 航平
栃木の民話語り	6月10日(土)	講堂	87	人文課研究員 木村真理子
生物・地学収蔵庫ガイド	6月10日(土)	生物収蔵庫 地学収蔵庫	14	自然課主任研究員 星 直斗 自然課主任研究員 栗原 隆 自然課主任 河野 重範
学芸員とおき講座 「昆虫標本が語る真実」	6月18日(日)	研修室	22	自然課主任研究員 栗原 隆
オープニング講座 「大集合！北関東の動植物化石」	7月15日(土)	講堂	63	自然課主任 河野 重範
学芸員とおき講座 「地域回想法と博物館」	7月16日(日)	研修室	8	人文課研究員 木村真理子
日光の自然(植物)	7月17日(月)	スロープ	42	自然課主任研究員 星 直斗
カチカチ発電機をつくろう！ ～鉱物をヒントに生まれた発明～	7月30日(日)	研修室	27	自然課主任研究員 岡本 直人 自然課学芸嘱託員 薄井 香淑
～教員のための博物館研修～ 体験しまSHOW博物館！ 地学編	8月11日(金)	研修室	18	教育広報課長 柏村 勇二
昆虫標本をつくってみよう	8月13日(日)	研修室	27	自然課主任研究員 栗原 隆 自然課学芸嘱託員 鈴木 信也
学芸員とおき講座 「化石ホットスポット！那須烏山ジオパーク構想」	8月20日(日)	研修室	20	自然課主任 河野 重範
～教員のための博物館研修～ 体験しまSHOW博物館！ 昔の道具編	8月26日(土)	会議室	1	教育広報課係長 沼尾 孝之
特別企画展講座 「とおき見どころ解説①」	9月17日(日)	講堂	145	人文課特別研究員 本田 諭 人文課主任 山本 享史
ミミズ学講座①—ミミズの生態と採集法—	9月24日(日)	研修室	19	自然課研究員 南谷 幸雄 自然課学芸嘱託員 浅羽 宏
ミミズ学講座②—ミミズの解剖と同定—	9月30日(土)	研修室	21	自然課研究員 南谷 幸雄 自然課学芸嘱託員 浅羽 宏
特別企画展講座 「とおき見どころ解説②」	10月15日(日)	講堂	114	学芸部長 江田 郁夫 人文課学芸嘱託員 深沢麻亜沙
生物・地学収蔵庫ガイド	11月 3日(金)	生物収蔵庫 地学収蔵庫	9	自然課長 林 光武 自然課主任研究員 坂井 広人 自然課研究員 南谷 幸雄
火山灰は宝石箱	11月11日(土)	研修室	8	自然課主任研究員 岡本 直人 自然課学芸嘱託員 薄井 香淑
学芸員とおき講座 「身近な地衣類」	11月19日(日)	研修室	14	自然課主任研究員 坂井 広人 自然課学芸嘱託員 山本 航平
学芸員とおき講座 「ガラスの鎧を着た「ケイソウ」」	12月17日(日)	エントランス	16	自然課学芸嘱託員 三瓶ゆりか
学芸員とおき講座 「谷文晁とその周辺」	1月21日(日)	研修室	19	人文課学芸嘱託員 深沢麻亜沙
豚足で骨格標本をつくろう	2月 4日(日)	研修室	19	自然課学芸嘱託員 浅羽 宏 自然課長 林 光武
学芸員とおき講座 「藤原秀郷と那須与一」	2月18日(日)	研修室	38	人文課主任 山本 享史
発表会 あつまれ！自然好き	2月25日(日)	講堂	138	自然課主任研究員 岡本 直人
学芸員とおき講座 「栃木にミミズが30種!?知られざるミミズの世界」	3月18日(日)	研修室	34	自然課研究員 南谷 幸雄
合 計			1,123	

(4) 見学会・観察会

講座名	期日	会場	参加人数(人)	講師
春の植物を見つけよう	4月15日(土)	宇都宮市	15	自然課主任研究員 星 直斗 自然課学芸嘱託員 三瓶 ゆりか 自然課学芸嘱託員 山本 航平 自然課学芸嘱託員 薄井 香淑
夜の観察会 「カエルとサンショウウオの夕べ」	5月 6日(土)	那須塩原市	31	自然課長 林 光武 自然課学芸嘱託員 浅羽 宏
春の磯をのぞいてみよう	5月13日(土)	茨城県 ひたちなか市	12	自然課研究員 南谷 幸雄 自然課主任研究員 坂井 広人 自然課学芸嘱託員 三瓶 ゆりか 自然課学芸嘱託員 山本 航平
ナスヒオウギアヤメ鑑賞会	5月20日(土)	宇都宮市	71	自然課主任研究員 星 直斗
モリアオガエル観察会	6月 3日(土)	塩谷町	34	自然課長 林 光武 自然課学芸嘱託員 浅羽 宏
セミの羽化を見よう	8月 5日(土)	県中央公園	70	自然課主任研究員 栗原 隆 自然課学芸嘱託員 鈴木 信也
化石観察会：太古の海底散歩！ 吉田貝層の化石	8月 6日(日)	那珂川町	39	自然課主任 河野 重範 自然課学芸嘱託員 薄井 香淑
土の中の生きものを探そう！ In 中央公園	8月12日(土)	県中央公園・ 研修室	21	自然課研究員 南谷 幸雄
塩原木の葉化石	8月26日(土)	那須塩原市	25	自然課主任 河野 重範 自然課主任研究員 星 直斗 自然課学芸嘱託員 薄井 香淑
泥だんごをつくろう！～あそんで学ぼう！土のひみつ～	8月27日(日)	真岡市	26	自然課主任研究員 岡本 直人 自然課学芸嘱託員 薄井 香淑
土と肥料の微妙な関係	9月 9日(土)	真岡市	6	自然課主任研究員 岡本 直人 自然課学芸嘱託員 鈴木 信也
キノコの観察会in中央公園	9月30日(土)	博物館研修室・ 県中央公園	24	自然課主任研究員 坂井 広人 自然課学芸嘱託員 山本 航平
めざせ！ゴールドハンター☆ 砂金を探せ！	10月21日(土)	那珂川町	24	自然課主任研究員 岡本 直人 自然課学芸嘱託員 薄井 香淑
合 計			398	

(5) 展示解説等

講座名	期日	会場	参加人数(人)	講師
収蔵庫は宝の山！ —初公開の化石・鉱物・動植物—	4月 2日(日)	展示室 2	20	自然課長 林 光武 自然課研究員 南谷 幸雄
	4月23日(日)	展示室 2	20	自然課主任研究員 星 直斗
	5月14日(日)	展示室 2	15	自然課主任研究員 星 直斗 自然課主任研究員 岡本 直人 自然課研究員 南谷 幸雄
とちぎの山・鉾・屋台	5月 6日(土)	展示室 2	25	人文課長 篠崎 茂雄 人文課研究員 木村真理子
	6月 4日(日)	展示室 2	20	人文課長 篠崎 茂雄 人文課研究員 木村真理子
大集合！北関東の動植物化石	7月23日(日)	展示室 2	40	自然課主任 河野 重範
巡回展 栃木の遺跡	7月29日(土)	展示室 2	2	人文課主任研究員 馬籠 和哉
地域回想法と博物館	8月20日(日)	展示室 2	0	人文課研究員 木村真理子
ミクロの世界	12月10日(日)	テーマ展示室	28	自然課長 林 光武 自然課主任研究員 坂井 広人 自然課研究員 南谷 幸雄
谷文晁と関東の文人画	2月 4日(日)	展示室 2	10	人文課学芸嘱託員 深沢麻亜沙
藤原秀郷と那須与一 —伝説の武将の実像に迫る—	3月 3日(土)	展示室 2	17	人文課主任 山本 享史
栃木の山の暮らし	3月 4日(日)	展示室 2	5	人文課学芸嘱託員 石井 和帆
おじいさんやおばあさんの 民話語り	1月 6日(土)	展示室 2	21	人文課長 篠崎 茂雄 人文課学芸嘱託員 石井 和帆 栃木県民話の会連絡協議会
	1月13日(土)	展示室 2	36	
	1月20日(土)	展示室 2	42	
	1月27日(土)	展示室 2	28	
	2月 3日(土)	展示室 2	14	
	2月10日(土)	展示室 2	34	
	2月17日(土)	展示室 2	17	
	2月24日(土)	展示室 2	24	
	3月 3日(土)	展示室 2	7	
	3月10日(土)	展示室 2	26	
	3月17日(土)	展示室 2	12	
3月24日(土)	展示室 2	26		
合 計			489	

(6) 博物館でやってみよう

No.	講 座 名	期 日	会 場	参加人数(人)	講 師
1	鎧を着てみよう①	4月30日(日)	2階ロビー	61	教育広報課 解説嘱託員
2	おりがみ「かぶと」	5月 3日(水)	1階ロビー	66	
3	まが玉をつくろう	5月20日(土)	研修室	42	
4	わかばたばたー百人一首うちわをつくろうー	6月10日(土)	1階ロビー	100	
5	十二単を着てみよう①	6月11日(日)	2階ロビー	81	
6	七夕飾りをつくろう	7月17日(月)	2階ロビー	40	
7	My植物図鑑をつくろう	7月27日(木)	研修室	50	
8		7月28日(金)	研修室	52	
9	化石ざんまいー化石さがしとレプリカづくりー	8月 3日(木)	研修室	87	
10	ペーパークラフトーいきもの百科ー	8月10日(木)	研修室	52	
11	まゆ玉で昆虫標本をつくろう	8月18日(金)	研修室	80	
12	十二単を着てみよう②	9月 9日(土)	2階ロビー	51	
13	わかびったんー百人一首に挑戦ー	9月30日(土)	エントランス	55	
14	鎧を着てみよう②	11月 3日(金)	2階ロビー	53	
15	落ち葉ステンドグラスをつくろう	11月25日(土)	研修室	30	
16	木の実クラフトをつくろう	12月16日(土)	研修室	24	
17	体験！ちょっと昔の暮らし	1月14日(日)	研修室	21	
18	紙すき体験ーオリジナルはがきをつくろうー	2月24日(土)	研修室	15	
19	おりがみ「おひなさま」	2月25日(日)	2階ロビー	67	
20	しあわせ貝あわせ	3月 3日(土)	エントランス	26	
	合 計			1,053	

(7) 市町村連携事業

ア 学校移動博物館

学 校 名	期 間	参加人数(人)	講 師
大田原市立親園小学校	5月 9日(火)～ 5月12日(金)	413	教育広報課職員
那須烏山市立荒川小学校	5月23日(火)～ 5月26日(金)	636	
市貝町立市貝小学校	6月 6日(火)～ 6月 9日(金)	324	
足利市立山辺小学校	7月 4日(火)～ 7月 7日(金)	989	
宇都宮市立岡本北小学校	9月12日(火)～ 9月15日(木)	673	
栃木県立益子特別支援学校	9月26日(火)～ 9月29日(金)	242	
野木町立南赤塚小学校	10月 3日(火)～10月 6日(金)	824	
日光市立大桑小学校	11月 7日(火)～11月10日(金)	343	
合 計		4,444	

イ 地域移動博物館

名 称	期 間	会 場	参加人数(人)
エビ・カニ・ヤドカリ ー不思議な甲殻類の世界ー	5月20日(土)～ 7月 9日(日)	芳賀町総合情報館	2,984
たんけん！はっけん！昆虫大集合	7月15日(土)～ 9月10日(日)	さくら市ミュージアム ー荒井寛方記念館ー	13,415
キノコの世界	7月22日(土)～ 8月27日(日)	小山市立博物館	4,848
とちぎのカエルとサンショウウオ	7月22日(土)～ 9月 3日(日)	茂木町ふみの森も てぎ	2,574
the博物館	7月22日(土)～ 8月30日(水)	佐野市立郷土博物 館	3,495
わたしたちの生活と鮎物	7月29日(土)～ 9月 3日(日)	益子町中央公民館	680
埴輪と鏡	8月 5日(土)～ 9月 3日(日)	市貝町立歴史民俗 資料館	2,197
わたしたちの生活と鮎物	9月 9日(土)～12月10日(日)	大田原市ふれあいの 丘自然観察館	2,653
来て！見て！とちぎ・しおやの植物展	12月 9日(土)～ 1月14日(日)	塩谷町生涯学習セ ンター	127
みんなの鮎物大百科	12月23日(土)～ 平成30年 4月15日(日)	那須塩原市那須野 が原博物館	4,641
合 計			37,614

ウ 共催展

名 称	期 間	会 場	参加人数(人)
「桜」ーサクラもいろいろー	平成29年3月25日(土)～ 5月 7日(日)	下野市立しもつけ 風土記の丘資料館	12,748
うつのみやの自然パネル展	4月29日(土)～ 5月17日(水) 4月29日(土)～ 5月17日(水) 5月20日(土)～ 6月 1日(木)	宇都宮市役所 宇都宮市立東図書館 宇都宮市立南図書館	39,904
恐竜展ーなぜ恐竜は大繁栄したのかー	2月15日(木)～ 3月28日(水)	那須町文化センター	3,420
合 計			56,072

※複数年度にまたがる展示については、開催期間全体の累計参加人数を掲載

工 移動講座

名 称	期 日	会 場	参加人数(人)	講 師
うつのみや生きものつながり講座「植物から生物多様性を学ぼう」	4月29日(土)	宇都宮市立東図書館	27	自然課主任研究員 星 直斗
近代日光の軌跡	5月13日(土)	壬生町中央公民館	36	人文課主任 大越 惟弘
国際観光都市“NIKKO”を訪れた外国人	5月27日(土)	壬生町中央公民館	34	人文課主任 大越 惟弘
エビ・カニ・ヤドカリのふしぎ	5月28日(日)	芳賀町総合情報館	37	自然課研究員 南谷 幸雄
火山灰は宝石箱	6月10日(土)	那須烏山市南那須公民館	26	自然課主任研究員 岡本 直人
しおやサマースクール「夏の草むら昆虫たんけん」	7月29日(土)	塩谷町大宮コミュニティーセンター及び上平鬼怒川河川敷	6	自然課主任研究員 栗原 隆
太古のロマン！？化石教室	7月31日(月)	足利市山前公民館	21	教育広報課長 柏村 勇二
火山灰は宝石箱	8月 1日(火)	栃木市大宮公民館	26	自然課主任研究員 岡本 直人
十二単や鎧の着付け体験	8月 5日(土)	佐野市郷土博物館	43	教育広報課主査 中村 智治
昆虫スケッチをしよう	8月 6日(日)	さくら市ミュージアムー荒井寛方記念館ー及び勝山公園、鬼怒川河原	21	自然課主任研究員 栗原 隆
まが玉をつくろう！	8月12日(土)	佐野市郷土博物館	27	教育広報課係長 沼尾 孝之
サンショウウオのひみつ	8月26日(土)	茂木町ふみの森もてぎ	18	自然課長 林 光武
那須烏山ジオパーク構想教室「ジオパークの先例に学ぶ：島原半島世界ジオパーク」	11月11日(土)	那須烏山市南那須公民館	14	自然課主任 河野 重範
発見！とちぎの鉱物	12月24日(日)	那須塩原市那須野が原博物館	20	自然課主任研究員 岡本 直人
近世下野国の水運について	1月27日(土)	那須烏山市南那須公民館	11	人文課主任研究員 飯塚 真史
日本の仏教美術について	2月 8日(木)	鹿沼市北押原コミュニティーセンター	22	人文課学芸嘱託員 深沢麻亜沙
恐竜教室	2月17日(土)	那須町文化センター	58	教育広報課長 柏村 勇二
化石発掘隊	3月17日(土)	那須町文化センター	42	教育広報課長 柏村 勇二
恐竜教室	3月24日(土)	那須町文化センター	64	教育広報課長 柏村 勇二
合 計			553	

(8) 県立博物館の日イベント

当館では、より多くの県民に来館していただき県民に親しまれる博物館を実現するとともに、博物館事業をPRしていくため、平成26年度から毎月第3日曜日に「県立博物館の日イベント」を開催している。平成29年度の事業実績は以下のとおり。

期 日	博物館利用者数(人)	行 事	参加人数(人)	備 考
4月16日	1,302	コンサート	399	宇都宮短期大学、宇都宮短期大学附属高等学校
		チアダンス&ミュージック、書道パフォーマンス	543	宇都宮短期大学附属高等学校
		クイズにチャレンジ	24	
		学芸員とおき講座	6	標本となって生まれ変わる植物たち(維管束植物)
		百人一首読み札ぬり絵	34	
		キッズツアー	23	生き物ふしぎ発見!
5月21日	1,046	常磐津公演「将門」	418	烏山山あげ保存会
		クイズにチャレンジ	35	
		学芸員とおき講座	62	栃木の祭礼文化
		電子顕微鏡ーミクロの世界探検ー	53	新種! 那須塩原の珪藻化石
		百人一首読み札ぬり絵	54	
		キッズツアー	14	収蔵庫のお話
6月18日	906	コンサート	504	ブルートレイン(ジャズ・サクソ)
		クイズにチャレンジ	36	
		学芸員とおき講座	22	昆虫標本が語る真実
		百人一首読み札ぬり絵	69	
		キッズツアー	37	ぐるり。模様めぐり。～動物の世界～
7月16日	1,377	コンサート	604	栃木県立宇都宮女子高等学校オーケストラ部・合唱部
		クイズにチャレンジ	52	
		学芸員とおき講座	8	地域回想法と博物館
		電子顕微鏡ーミクロの世界探検ー	48	けけけ植物のけ
		百人一首読み札ぬり絵	35	
		キッズツアー	36	ニンニン★忍者
8月20日	1,274	コンサート	307	壬生町少年少女合唱団
		クイズにチャレンジ	91	
		学芸員とおき講座	20	化石ホットスポット! 那須烏山ジオパーク構想エリアの化石
		百人一首読み札ぬり絵	66	
		キッズツアー	57	きらきら☆結晶のおはなし
11月19日	693	コンサート	211	栃木県オペラ協会
		クイズにチャレンジ	34	
		学芸員とおき講座	14	身近な地衣類
		百人一首読み札ぬり絵	32	
		キッズツアー	12	秋の森トコトコツアー
12月17日	368	コンサート	140	ヒヨコまめ
		クイズにチャレンジ	11	
		学芸員とおき講座	16	ガラスの鎧を着た「ケイソウ」
		百人一首読み札ぬり絵	10	
		キッズツアー	36	ちょうちょ～チョウクイズにチョウせん♪～

期 日	博物館利用者数(人)	行 事	参加人数(人)	備 考
1月21日	865	コンサート	257	能満寺ハンドベルエコーベルフラ ワーズ
		クイズにチャレンジ	30	
		学芸員とおき講座	19	谷文晁とその周辺
		電子顕微鏡－ミクロの世界探検－	75	ちいさなちいさなカタツムリ
		野鳥観察会	32	栃木県中央公園連携事業
		百人一首読み札ぬり絵	37	
2月18日	656	コンサート	186	宇都宮大学マンドリンクラブ
		クイズにチャレンジ	38	
		学芸員とおき講座	38	藤原秀郷と那須与一 －伝説の武将の実像に迫る－
		電子顕微鏡－ミクロの世界探検－	68	きのこ～孢子や菌糸をみてみよう～
		百人一首読み札ぬり絵	49	
		キッズツアー	20	おもちゃのしんか
3月18日	655	コンサート	320	栃木県立宇都宮南高等学校吹奏楽部
		クイズにチャレンジ	40	
		学芸員とおき講座	34	栃木にミミズが30種！？ 知られざるミミズの世界
		百人一首読み札ぬり絵	44	
		キッズツアー	30	

※ 9月及び10月の特別企画展開催期間中は、週末に、エントランスや玄関ポーチに連携する市町のブース（物販や観光案内など）が設営されたことから、県博デーとしての催しは実施しなかった。

(9) ミュージアムツアー（定時解説）

担 当…解説嘱託員

開催日…毎週土曜日、日曜日（「県立博物館の日イベント」実施日を除く）、祝日

時 間…13:30～

対 象…希望者

内 容…企画展・テーマ展・展示室1・展示室2・スロープ展示に関する解説と案内

(10) 広報・広聴事業

種 類	内 容	規格等
①ポスターの発行	<ul style="list-style-type: none"> 企画展 とちぎの山・銚・屋台 企画展 大集合！北関東の動植物化石 特別企画展 中世宇都宮氏－頼朝・尊氏・秀吉を支えた名族－ 	B 2（4色） B 2（4色） B 2（4色）
②リーフレットの発行	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度年間行事案内 テーマ展リーフレット 巡回展 栃木の遺跡、地域回想法と博物館、おじいさんやおばあさんの子どもたちの暮らし、谷文晁と関東の文人画、栃木の山の暮らし、藤原秀郷と那須与一伝説の武将の実像に迫る一、ミクロの世界、ミミズ 	420×210（巻きジャバラ折り4色） A 3（4色、両面印刷、中折り）
③県広報媒体を利用したの広報	<ul style="list-style-type: none"> 県民だより とちぎ放送「県政ひとくちメモ」 県政スクランブル－栃木放送 	広報誌・新聞・ラジオ・テレビ等
④報道機関への情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 県政記者クラブ ・支局への資料提供 取材依頼 ・取材協力 	タウン誌等
⑤出版社等への情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 資料提供 ・取材依頼 ・取材協力 	
⑥有料広告	<ul style="list-style-type: none"> 企画展 とちぎの山・銚・屋台 企画展 大集合！北関東の動植物化石 特別企画展 中世宇都宮氏－頼朝・尊氏・秀吉を支えた名族－ 	新聞 タウン誌 テレビCM、ラジオCM ラッピングバス、路線バス中吊り広告
⑦屋外バナー広告	<ul style="list-style-type: none"> 特別企画展 中世宇都宮氏－頼朝・尊氏・秀吉を支えた名族－ 	宇都宮市中央生涯学習センター壁面懸垂幕 4,000×20,000
⑧後援による無料駅貼り広告	<ul style="list-style-type: none"> 特別企画展 中世宇都宮氏－頼朝・尊氏・秀吉を支えた名族－ 	JR宇都宮線（県内）、日光線、烏山線 真岡鐵道（全駅） 東武日光線、東武宇都宮線（全駅）
⑨協賛による無料広告	<ul style="list-style-type: none"> 特別企画展 中世宇都宮氏－頼朝・尊氏・秀吉を支えた名族－ 	宇都宮市商工会議所機関誌「天地人」 ヤクルト宇都宮販売チラシ作成及び配布（8万枚）
⑩入館者からの意見聴取	<ul style="list-style-type: none"> 月例アンケート調査（毎月第3日曜日に実施） 企画展アンケート 学校団体アンケート調査（随時） 一般団体アンケート調査（随時） 常設アンケート調査 行事参加者へのアンケート調査 	
⑪インターネットを利用したの広報	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ運営 http://www.muse.pref.tochigi.lg.jp/ 各種検索サイトへの登録 他機関サイトとの相互リンク 栃木県公式ホームページ 栃木県立博物館Twitter 栃木県立博物館Facebook 	
⑫近隣自治体への情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 各企画展のポスター掲示 各企画展のチラシの回覧 	

(11) 出版事業

博物館の調査研究成果を発表し、利用者の便宜を図るため、次の図書等を発行した。

(1) 図録

- 企画展「とちぎの山・鉾・屋台」
- 企画展「大集合！北関東の動植物化石」
- 開館35周年記念特別企画展「中世宇都宮氏一頼朝・尊氏・秀吉を支えた名族一」

(2) 研究紀要－自然－第35号

研究紀要－人文－第35号

(3) 年報第35号

(4) 収蔵資料目録

(12) 博物館実習生の指導

当館では開館翌年の昭和58年から博物館実習生を受け入れ、昭和62年には「栃木県立博物館実習生受け入れ要綱」を制定し、以後はそれに従って実習生の指導にあたっている。近年、実習を希望している学生が多様化していることから、平成12年度より実習中心のコースと講義中心のコースの2つに分けて実習生を受け入れることとし、受け入れ要綱を一部改正した。

本年度は計18大学39名の学生を受け入れ、実習中心のコースは24名、講義中心のコースは15名にて実習を行なった。

実習日程（実習中心コース）

第1日 7月25日(火)

開講式

博物館の概要（江田学芸部長）

企画展見学（河野主任）

バックヤード・常設展見学

（坂井主任研究員・木村研究員）

人文系学芸活動について（篠崎人文課長）

自然系学芸活動について（林自然課長）

教育広報活動について（柏村教育広報課長）

各担当者との打ち合わせ

第2日～第6日

各担当者との打ち合わせによる実習（10月末日まで）

実習日程（講義中心コース）

8月31日(木)

開講式

学芸部長講話（江田学芸部長）

館内展示等自由見学

人文系の博物館活動（篠崎人文課長）

自然系の博物館活動（林自然課長）

友の会の活動について（渡辺事務局長）

9月 1日(金)

自然系の普及教育活動（坂井主任研究員）

館内バックヤード見学（坂井主任研究員）

人文系の普及教育活動（馬籠主任研究員）

博物館の教育広報活動（柏村教育広報課長）

情報管理、ホームページについて（岡本主任研究員）

9月 5日(火)

人文系資料の収集と整理（大越主任）

自然系資料の収集と整理（南谷研究員）

人文系の展示（木村研究員）

自然系の展示（坂井主任研究員）

9月 6日(水)

班別実習

考古・歴史・民俗・美術工芸・動物・植物・地学

9月 7日(木)

班別実習

考古・歴史・民俗・美術工芸・動物・植物・地学

9月 8日(金)

班別実習

考古・歴史・民俗・美術工芸・動物・植物・地学

閉講式

この他に、各大学における学芸員課程の一環として、下記大学の学生の見学を受け入れた。

帝京大学 6月17日(土)

帝京大学 7月 8日(土)

作新学院大学 8月 4日(金)

日本大学 10月26日(木)

茨城キリスト教大学 11月17日(金)

文星芸術大学 12月 1日(金)

帝京大学 12月16日(土)

國學院短期大学 12月16日(土)

(13) 県版レッドリスト・レッドデータブック改訂
県版レッドリスト・レッドデータブック改訂事業（主管課：県環境森林部自然環境課）において、改訂版レッドデータブック作成のための調査検討・原稿執筆・編集作業を行い、「レッドデータブックとちぎ2018」の内容作成の実務を担った。（自然課）

(14) 館内オープンスペースの活用

①季節替わり展示

平成26年度より当館のエントランスはオープンスペースとして、より多くの県民が気軽に利用できるよう整備し、毎月第3日曜日に開催する県博デーイベントなどを中心に情報発信の場や憩いの場として活用されている。

このオープンスペース活用の一環として、月替わりで教育広報課の貸出資料の一部を展示するコーナーを設け、季節に合わせた展示を実施した。

「端午の節句－鎧編－」

4月15日(土)～ 5月 7日(日)

「古代の衣装－七夕編－」

7月14日(金)～ 8月 8日(火)

「古代の衣装－衣装の移り変わり編－」

8月 9日(水)～ 9月 3日(日)

「宇都宮と百人一首」

9月 5日(火)～10月31日(火)

「大地のつくりと変化－化石編－」

10月 1日(日)～12月 5日(火)

「昔の道具とくらし」

12月 6日(水)～ 2月14日(水)

「雅な衣装－ひなまつり編－」

2月15日(木)～ 3月 9日(金)

(担当 教育広報課)

9 平成29年度 栃木県立博物館 催し物一覧

月	4	5	6	7	8	9
企画展		とちぎの山・銚・屋台			大集合！北関東の動植物化石	
テーマ展等					巡回展 栃木の遺跡	
季節替わり展示	端午の節句-昼(4月中旬~5月中旬)			古代の衣装-七夕編・移り変わり(7月~8月)		宇都宮と百人一首(9月~10月)
企画展						
講演会		7,14,28記念講演会①②③		30記念講演会		16記念講演会
講座・観察会	29開会式・オープニング講座	21関連講座①	11関連講座②③	15開会式・オープニング講座		17とっておき見どころ解説① 23史跡紹介
企画展		6企画展展示解説①	4企画展展示解説②	23企画展展示解説		
企画展						
テーマ展等		29開会式・オープニング講座 29展示解説① 収蔵庫は宝の山！-初公開の化石・鉱物・動植物-		22巡回展・栃木の遺跡	22地域回想法と博物館	3
観察会・見学会	15春の植物を見つけよう	6夜の観察会「カエルとサンショウウオの夕べ」 13春の磯をのぞいてみよう 20ナスヒオウギアヤメ鑑賞会	3モリアオガエル観察会	5セミの羽化を観察しよう！ 6化石観察会「太古の海底散歩！吉田貝層の化石」	12土の中の生きものを探そう！In中央公園 26化石観察会「塩原の木の葉化石」 27泥だんごをつくろう！-あそんで学ぼう！土のひみつ-	9土と肥料の微妙な関係 30キノコの観察会in中央公園
講座						
考古						
歴史						
民俗		21とっておき講座「栃木の祭礼文化」	10栃木の民話語り	16とっておき講座「地域回想法と博物館」		
植物	16とっておき講座「標本となつて生まれ変わる植物たち」		3ミジンコやアオミドロを見てみよう			
動物			10生物・地学収蔵庫ガイド 18とっておき講座「昆虫標本が語る真実」		13昆虫標本をつくろう！	24ミミズ学講座①-ミミズの生態と採集法- 30ミミズ学講座②-ミミズの解剖と同定-
地学				30カチカチ発電機をつくろう！-鉱物をヒントに生まれた発明-	20とっておき講座「化石ホットスポット！那須烏山ジオパーク構想」	
総合						
コンサート	16宇都宮短期大学・宇短大附属高校	21烏山山あげ保存会	18サクソユニットブルートレイン	16宇都宮女子高等学校	20壬生町少年少女合唱団	
キッズツアー	16生き物ふしぎ発見	21収蔵庫のお話	18ぐるり。模様めぐり。~動物の世界~	16ニンニン★忍者	20きらきら☆結晶のおはなし	
クイズにチャレンジ	16	21	18	16	20	
体験活動	16百人一首読み札塗り絵	21百人一首読み札塗り絵 21電子顕微鏡-ミクロの世界探検-	18百人一首読み札塗り絵	16百人一首読み札塗り絵 16電子顕微鏡-ミクロの世界探検-	20百人一首読み札塗り絵	
教員研修		13体験しまSHOW 博物館！衣装編			11体験しまSHOW 博物館！地学編 26体験しまSHOW 博物館！昔の道具編	
体験学習・体験活動(博やる)	30鎧を着てみよう！①	3おりがみ「かぶと」 20まが玉をつくろう	10わかばたばた-百人一首うちわをつくろう- 11十二単を着てみよう①	17七夕飾りをつくろう 27夏休み宿題応援企画！My植物図鑑をつくろう 28夏休み宿題応援企画！My植物図鑑をつくろう	3夏休み宿題応援企画！化石ざんまい-化石さがしとレプリカづくり- 10ペーパークラフト-いきもの百科- 18まゆ玉で昆虫標本をつくろう	9十二単を着てみよう②
ミュージアムツアー						
地域移動博共催展		4/29-5/17 うつのみやの自然パネル展(宇都宮市) 5/20-6/1 うつのみやの自然パネル展(宇都宮市) 5/30-7/9 エビ・カニ・ヤドカリ~不思議な甲殻類の世界~(芳賀町)			7/29-9/3 わたしたちの生活と鉱物(益子町) 7/15-9/10 たんけん！はっけん！昆虫大集合(さくら市) 7/22-8/27 キノコの世界(小山市) 7/22-9/3 とちぎのカエルとサンショウウオ(茂木町) 7/22-8/30 the博物館(佐野市) 8/5-9/3 運輸と鏡(市貝町)	
移動講座	29いきものつながり講座(宇都宮市)	13近代日光の軌跡(壬生町) 27国際観光都市「NIKKO」を訪れた外国人(壬生町) 28エビ・カニ・ヤドカリのふしぎ(芳賀町)	10火山灰は宝石箱(那須烏山市)	29夏の草むら昆虫たんけん(塩谷町) 31太古のRoman! ?化石教室(足利市)	1地学・火山灰は宝石箱(栃木市) 5十二単や鎧の着付け体験(佐野市) 6昆虫スケッチをしよう(さくら市) 12まが玉をつくろう！(佐野市) 26サンショウウオのひみつ(茂木町)	
学校移動博	9-12観園小学校(大田原市) 23-26荒川小学校(那須烏山市)	6-9市貝小学校(市貝町)	4-7山辺小(足利市)		12-15岡本北小(宇都宮市) 26-29益子特別支援学校(益子町)	
備考			6/20	7/5燻蒸期間		
博物館協会		17栃博協第1回理事会・総会	2栃博協博物館文化財セミナー	6地域の文化財防災体制の確立に向けた協議会		30栃博協親子の集い

10	11	12	1	2	3
→29 中世宇都宮氏・頼朝・尊氏・秀吉を支えた名族-					
おじいさんやおばあさんの子どものころの暮らし					
23←					
6← 谷文晁と関東の文人画 →12 24← 藤原秀郷と那須与一-伝説の武将の実像に迫る-					
6← 栃木の山の暮らし					
11← ミクロの世界 →21 3← あつまれ!自然好き-ポスター発表- →4 17← ミミズ					
← 大地のつくりと変化-化石編- (10月中旬~12月中旬) 昔の道具とくらし (12月~2月中旬) みやびな衣装-ひなまつり- (2月中旬~3月中旬) →					
1,22講演会①②					
15とっておき見どころ解説②					
		10展示解説 ミクロの世界	6,13,20,27おじいさんやおばあさんの民話語り	3,10,17,24おじいさんやおばあさんの民話語り 4展示解説 谷文晁と関東の文人画	3,10,17,24おじいさんやおばあさんの民話語り 3展示解説 藤原秀郷と那須与一 4展示解説 栃木の山の暮らし
21めざせ! ゴールドハンター ☆砂金を探せ!					
			21とっておき講座「谷文晁とその周辺」	18とっておき講座「藤原秀郷と那須与一」	
	19とっておき講座「身近な地衣類」	17とっておき講座「ガラスの鎧を着た『ケイソウ』」			
	3生物・地学収蔵庫ガイド			4豚足で骨格標本をつくろう 25活動・研究発表会「あつまれ!自然好き」	18とっておき講座「栃木に30種!?知られざるミミズの世界」
	11火山灰は宝石箱				
	19栃木県オペラ協会	17ヒヨコまめ	21能満寺ハンドベルエコーベルブラワーズ	18宇都宮大学マンドリン部	18宇都宮南高等学校
	19秋の森トコトコッア	17ちょうちょ~チョウクイズにチョウせん♪~	21博物館でミクロツアー!-水の中の小さな生き物-	18おもちゃのしんか☆	18家紋-KAMON-カモン!
	19	17	21	18	18
	19百人一首読み札塗り絵	17百人一首読み札塗り絵	21百人一首読み札塗り絵 21電子顕微鏡-ミクロの世界探検-	18百人一首読み札塗り絵 18電子顕微鏡-ミクロの世界探検-	18百人一首読み札塗り絵
	11鎧を着てみよう② 25落ち葉ステンドグラスをつくろう	16木の実クラフトをつくろう	14体験! ちょっと昔の暮らし	24紙すき体験-オリジナルハガキをつくろう- 25おりがみ「おひなさま」	3しあわせ貝あわせ

9/9~12/10 わたしたちの生活と鉱物 (大田原市) ← 12/9~1/14 来て!見て!とちぎ・しおやの植物展 (塩谷町) →					
← 12/23~4/15 みんなの鉱物大百科 (那須塩原市) →					
← 2/15~3/28 恐竜展-なぜ恐竜は大繁栄したのか (那須町) →					
22キミも化石ハンター (大田原市)	11ジオパークの先例に学ぶ: 塩原半島世界ジオパーク (那須烏山市)	24発見!とちぎの鉱物 (那須塩原市)	27近世下野国の水運について (那須烏山市)	8日本の仏教美術について (鹿沼市) 17恐竜教室 (那須町)	10化石発掘隊 (那須町) 24恐竜教室 (那須町)
3-6南赤塚小 (野木町)	7-10大桑小 (日光市)				
24関博協第2回研究会		12栃博協研修会・情報交換会			8関博協理事会 14栃博協第2回理事会・学芸活動奨励賞授賞式・講演会

II 諸統計

1 平成29年度入館者統計

平成28年度 187,495人

平成29年度の入館状況は、下表に示すように開館日数295日、入館者212,782人、一日平均327.0人であった。本年度入館者数は前年度より25,287人増となり、昭和57年の開設以来の累計は5,514,703人となった。平成29年度の入館区分の人数及びその構成は、下表のとおりである。入館者を月別にみると、8月がもっとも多く、次いで10月、9月の順となる。8月については夏季企画展やトピック展示が10月、9月については特別企画展の開催（会期中は月曜日も開館）が主な要因である。

入館状況

年 度	開 館 日 数	有 料 入 館									
		個 人				団 体				計	
		一 般	大学生 高校生	中学生 小学生	小 計	団体数	一 般	大学生 高校生	中学生 小学生		小 計
昭和57年 10月から 平成29年 3月まで	9,996	1,351,418	70,204	378,315	1,799,937	7,711	290,646	3,104	44,592	338,342	2,138,279
平 成 29 年 度	4	26	1,812	51	1,863	1	140	0		140	2,003
	5	26	2,601	99	2,700	1	182	0		182	2,882
	6	16	815	24	839	1	81	0		81	920
	7	22	2,557	78	2,635	2	185	1		186	2,821
	8	27	5,735	212	5,947	1	220	2		222	6,169
	9	28	3,098	136	3,234	4	547	4		551	3,785
	10	29	5,951	168	6,119	3	445	4		449	6,568
	11	25	1,292	37	1,329	2	136	0		136	1,465
	12	23	847	23	870	0	60	0		60	930
	1	23	1,403	37	1,440	0	87	1		88	1,528
	2	24	1,443	66	1,509	0	81	2		83	1,592
	3	26	1,749	129	1,878	0	110	0		110	1,988
	計	295	29,303	1,060	30,363	15	2,274	14		2288	32,651
1日あたり平均		99.3	3.6	102.9	0.1	7.7	0.0		7.8	110.7	
累計	10,291	1,380,721	71,264	378,315	1,830,300	7,726	292,920	3,118	44,592	340,630	2,170,930

また、免除団体301団体のうち、173団体が学校教育法に基づく学校となっている。学校種別にみると小学校が123校5,798人と最も多い。10月～2月が多いのは、遠足シーズンのほか小学校3年生で行う社会科の授業にあわせた展示「おじいさんやおばあさんの子どものころの暮らし」を1月から3月にかけて開催しているためである。

免除団体		招待者等	第2・4土曜(1)	小(個人)中学生(2)	特別観覧注等(3)	合計	移動博物館注等(4)	総計	一日あたり平均注(5)
団体数	人数								
組	人	人	人	人	人	人	人	人	人
11,460	855,528	130,743	7,876	152,318	898,065	4,182,809	1,119,112	5,301,921	
9	237	187		741	2,987	6,155	12,508	18,663	236.7
31	1,213	621		756	2,664	8,136	43,925	52,061	312.9
17	2,611	358		453	3,279	7,621	12,028	19,649	476.3
20	790	250		1,062	3,177	8,100	12,967	21,067	368.2
18	646	750		3,373	4,049	14,987	16,886	31,873	555.1
25	1,336	714		640	2,952	9,427	3,950	13,377	336.7
41	1,292	2,680		715	2,487	13,742	2,213	15,955	473.9
40	1,852	81		557	2,520	6,475	2,368	8,843	259.0
35	1,693	63		274	1,702	4,662	1,221	5,883	202.7
33	1,723	91		496	2,145	5,983	2,150	8,133	260.1
21	776	116		478	2,553	5,515	2,944	8,459	229.8
11	365	106		618	2,583	5,660	3,159	8,819	217.7
301	14,534	6,017		10,163	33,098	96,463	116,319	212,782	327.0
1.0	49.3	20.4		34.5	112.2	327.0	394.3	721.3	
11,761	870,062	136,760	7,876	162,481	931,163	4,279,272	1,235,431	5,514,703	

- 注(1) 第2・第4土曜の観覧は小・中学生で統計は平成9年度から平成13年度までである。
 (2) 小中学生(個人)は平成14年度からである。
 (3) 特別観覧等は優待券、事業参加者、業務調査、幼児等である。
 (4) 移動博物館等は学校移動博物館及び地域移動博物館等である。
 (5) 一日あたり平均は移動博物館等入館者数を除いた数である。

有料団体入館状況

年 度	月	団 体 種 別																			
		国・県 市町村		市町村 教 委		公民館		女性団体等		老人会		子供会		P T A		研修会等		事業所		観 光	
昭和57年10 月から平成 29年3月まで		組	人	組	人	組	人	組	人	組	人	組	人	組	人	組	人	組	人	組	人
		486	16,696	288	10,594	528	19,167	807	26,397	888	32,928	1,041	49,078	938	40,810	917	36,887	766	35,091	342	17,542
平 成 29 年 度	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	28	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	1	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7	0	0	0	0	0	0	0	0	1	21	0	0	0	0	0	0	0	0	1	54
	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	37	0	0	1	25
	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	34
	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	2	58	0	0	0	0	2	65	0	0	3
累 計		486	16,696	288	10,594	528	19,167	807	26,397	890	32,986	1,041	49,078	938	40,810	919	36,952	766	35,091	345	17,655

観覧料免除団体のうち学校教育法第1条に基づく学校引率団体入館状況

年 度	月	学 校 種 別																	
		幼 稚 園 (1)			小 学 校			中 学 校			高等学校			特別支援学校			大 学 (2)		
		園数	園児	引率	校数	児童	引率	校数	生徒	引率	校数	生徒	引率	校数	生徒	引率	校数	学生	引率
昭和57年10 月から平成 29年3月まで		94	5,169	659	5,164	335,942	19,388	759	71,297	3,972	605	96,649	4,622	539	16,161	3,609	128	3,032	181
平 成 29 年 度	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	5	447	25	0	0	0	0	0	0	3	15	17	1	11	1
	6	0	0	0	6	162	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	83	5
	7	0	0	0	2	162	10	1	232	18	2	55	3	3	24	15	2	51	2
	8	1	21	3	1	7	2	1	31	1	1	56	6	0	0	0	2	92	7
	9	0	0	0	10	661	41	0	0	0	0	0	0	2	32	15	1	9	2
	10	2	103	16	16	588	44	0	0	0	1	2	4	2	10	7	2	33	2
	11	4	192	20	21	674	54	0	0	0	0	0	0	2	9	8	1	17	2
	12	0	0	0	26	1,450	87	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	33	3
	1	1	44	7	24	1,218	79	0	0	0	0	0	0	3	158	42	1	20	1
	2	1	92	6	12	429	40	2	78	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	1	31	2	1	96	4	0	0	0	0	0	0
		計	9	452	52	123	5,798	398	5	372	30	5	209	17	15	248	104	16	349
累 計		103	5,621	711	5,287	341,740	19,786	764	71,669	4,002	610	96,858	4,639	554	16,409	3,713	144	3,381	206

団体種別				所在地別									
その他		合計		市内		県内		県外		不明		合計	
組	人	組	人	組	人	組	人	組	人	組	人	組	人
710	44,837	7,711	330,027	751	44,636	4,017	159,755	2,923	123,462	20	2,174	7,711	330,027
1	31	1	31	1	31	0	0	0	0	0	0	1	31
0	0	1	28	0	0	0	0	1	28	0	0	1	28
0	0	1	37	0	0	0	0	1	37	0	0	1	37
0	0	2	75	1	21	1	54	0	0	0	0	2	75
1	30	1	30	0	0	1	30	0	0	0	0	1	30
2	65	4	127	1	22	0	0	3	105	0	0	4	127
3	82	3	82	0	0	0	0	3	82	0	0	3	82
1	45	2	79	1	45	0	0	1	34	0	0	2	79
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	253	15	489	4	119	2	84	9	286	0	0	15	489
718	45,090	7,726	330,516	755	44,755	4,019	159,839	2,932	123,748	20	2,174	7,726	330,516

学校種別						所在地別(学校数)										
その他の学校(3)			合計			河内	上都賀	芳賀	下都賀	塩谷	那須	南那須	安足	県外	合計	
校数	児童 生徒	引率	校数	児童 生徒	引率											
校	人	人	校	人	人	校	校	校	校	校	校	校	校	校	校	
535	25,794	1,839	7,824	554,044	34,270	3,233	653	498	718	380	590	172	316	1,264	7,824	
			0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
			9	473	43	23	1	2	1	0	1	1	1	1	31	
			9	245	21	10	2	1	1	0	2	1	0	0	17	
			10	524	48	12	2	0	2	0	2	0	0	2	20	
			6	207	19	12	2	0	0	0	1	0	0	3	18	
			13	702	58	15	1	2	2	0	1	0	1	3	25	
			23	736	73	21	3	3	3	1	5	1	1	3	41	
			28	892	84	20	3	7	4	0	5	0	0	1	40	
			29	1,483	90	21	3	1	3	3	2	0	1	1	35	
			29	1,440	129	21	3	2	1	1	2	0	0	3	33	
			15	599	55	14	4	1	0	0	1	0	0	1	21	
			2	127	6	8	0	1	0	0	1	0	1	0	11	
0	0	0	173	7,428	626	186	24	20	17	5	23	3	5	18	301	
535	25,794	1,839	7,997	561,472	34,896	3,419	677	518	735	385	613	175	321	1,282	8,125	

注(1) 幼稚園は平成21年度からである。
 (2) 大学は平成21年度からである。
 (3) その他の学校の統計は平成20年度まで大学と幼稚園分が含まれている。

曜日別入館者状況

年度	月	日曜・祝日 振替休日		火曜		水曜		木曜		金曜		土曜		計		摘要	
		日数	観覧者数	日数	観覧者数	日数	観覧者数	日数	観覧者数	日数	観覧者数	日数	観覧者数	日数	観覧者数	最高	最低
昭和57年10月 から平成29年 3月まで		日	人	日	人	日	人	日	人	日	人	日	人	日	人	人	人
		2,121	1,950,236	1,475	586,244	1,586	657,249	1,580	651,192	1,591	597,774	1,643	859,226	9,996	5,301,921	-	-
平成 29 年 度	4	5	10,016	4	1,004	4	1,219	4	1,903	4	2,056	5	2,465	26	18,663	862	44
	5	7	16,302	5	7,679	4	6,329	3	5,316	3	6,195	4	10,240	26	52,061	840	100
	6	3	9,703	2	1,318	2	878	3	4,105	3	1,249	3	2,396	16	19,649	2,013	135
	7	4	12,338	2	882	4	1,101	4	1,813	4	1,170	4	3,763	22	21,067	1,053	49
	8	5	8,707	5	4,963	5	4,851	5	4,526	3	3,370	4	5,456	27	31,873	852	156
	9	6	3,991	4	1,001	4	1,220	4	1,849	5	1,608	5	3,708	28	13,377	839	80
	10	9	5,984	3	1,197	4	2,153	4	1,902	4	1,359	5	3,360	29	15,955	1,918	75
	11	5	3,412	4	609	5	1,114	5	1,304	2	578	4	1,826	25	8,843	1,787	71
	12	4	1,188	4	877	4	831	3	713	4	1,242	4	1,032	23	5,883	953	54
	1	5	1,488	3	733	3	697	4	1,378	4	1,514	4	2,323	23	8,133	477	62
	2	5	3,733	3	719	4	686	4	889	4	528	4	1,904	24	8,459	871	83
	3	5	3,264	4	1,031	3	851	4	540	5	819	5	2,314	26	8,819	756	53
	計	63	80,126	43	22,013	46	21,930	47	26,238	45	21,688	51	40,787	295	212,782		
	構成割合	37.7%		10.3%		10.3%		12.3%		10.2%		19.2%		100.0%			
一日当たり 入館者数	1,272		512		477		558		482		800		721				
累計	2,184	2,030,362	1,518	608,257	1,632	679,179	1,627	677,430	1,636	619,462	1,694	900,013	10,291	5,514,703			

※1 曜日別入館者数は観覧者総数（本館入館者及び移動博物館入館者）
 ※2 適用は本館入館者の最高、最低人数

年度別入館者状況

年度 月	昭和58年度 ～ 昭和63年度	平成元年度 ～ 平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
4	人 100,146	人 147,390	人 4,148	人 4,260	人 6,694	人 5,650	人 4,974	人 6,722	人 14,036	人 18,663
5	192,439	333,230	7,453	8,330	11,741	14,391	7,429	10,724	12,700	52,061
6	90,474	237,210	8,089	6,072	10,606	12,175	6,845	6,887	45,422	19,649
7	89,088	288,384	20,594	20,350	16,110	14,693	17,665	12,176	27,254	21,067
8	181,970	628,672	41,212	34,469	24,147	24,595	33,313	19,453	29,691	31,873
9	95,205	214,338	6,934	9,027	9,441	8,403	9,415	9,382	10,043	13,377
10	160,618	248,429	8,206	9,277	11,262	9,373	7,751	11,614	10,662	15,955
11	198,998	271,782	8,953	9,954	22,097	12,873	11,599	10,266	12,864	8,843
12	60,653	78,662	3,901	632	1,531	5,155	5,863	5,206	6,259	5,883
1	81,743	130,665	6,225	5,110	4,913	9,069	6,482	6,453	6,300	8,133
2	115,806	157,157	9,053	5,902	7,190	5,775	7,179	7,771	5,705	8,459
3	132,456	133,047	3,714	6,431	4,125	5,297	7,230	7,863	6,559	8,819
計	1,499,596	2,868,966	128,482	119,814	129,857	127,449	125,745	114,517	187,495	212,782
累計	1,499,596	4,368,562	4,497,044	4,616,858	4,746,715	4,874,164	4,999,909	5,114,426	5,301,921	5,514,703

入館者比較表（参考資料）

月別	平成28年度入館者数			平成29年度入館者数			比較増減			平成28年度 団 体 数		平成29年度 団 体 数	
	本館	移動博等	計	本館	移動博等	計	本館	移動博等	計	県内	県外	県内	県外
4	人 5,332	人 8,704	人 14,036	人 6,155	人 12,508	人 18,663	人 823	人 3,804	人 4,627	組 6	組 0	組 10	組 0
5	9,161	3,539	12,700	8,136	43,925	52,061	△1,025	40,386	39,361	21	1	30	2
6	8,264	37,158	45,422	7,621	12,028	19,649	△643	△25,130	△25,773	22	0	17	1
7	7,309	19,945	27,254	8,100	12,967	21,067	791	△6,978	△6,187	25	5	20	2
8	8,692	20,999	29,691	14,987	16,886	31,873	6,295	△4,113	2,182	11	2	16	3
9	6,842	3,201	10,043	9,427	3,950	13,377	2,585	749	3,334	19	4	23	6
10	8,918	1,744	10,662	13,742	2,213	15,955	4,824	469	5,293	33	3	38	6
11	9,271	3,593	12,864	6,475	2,368	8,843	△2,796	△1,225	△4,021	40	3	40	2
12	5,122	1,137	6,259	4,662	1,221	5,883	△460	84	△376	25	1	34	1
1	5,877	423	6,300	5,983	2,150	8,133	106	1,727	1,833	32	1	30	3
2	5,542	163	5,705	5,515	2,944	8,459	△27	2,781	2,754	28	1	20	1
3	5,968	591	6,559	5,660	3,159	8,819	△308	2,568	2,260	9	0	11	0
計	86,298	101,197	187,495	96,463	116,319	212,782	10,165	15,122	25,287	271	21	289	27

2 アンケート調査による入館者の実態

当館では、開館以来アンケート調査を実施し、入館者の実態を把握し、その活動や運営に生かすよう努めている。アンケートは日常的に実施する「日々アンケート」と、今年度から始まった毎月第3日曜日に開催する県立博物館の日イベント（県博デー）に特化した「県博デーアンケート」の2種類がある。この2種のアンケートは、来館目的に関する項目が異なるだけで、大きな違いはない。「日々アンケート」は、館内3箇所に設置されたアンケート回収ボックス脇に準備されており、来館者が自由に回答できるようになっている。「県博デーアンケート」は、回収ボックスを6箇所に増やし「日々アンケート」と同様に自由に回答してもらうようにしている。

「日々アンケート」は月2回、「県博デーアンケート」は県博デー実施直後にそれぞれ集計している。各アンケートの集計結果は各課で回覧し、来館者の声を迅速にフィードバックできるよう努めている。

(1) 調査日

「日々アンケート」は全開館日、「県博デーアンケート」は毎月第3日曜日

(2) 調査事項

ア 回答者に関する事項

性別・年齢・同伴者・住所

イ 来館に関する事項

来館回数・来館方法・来館目的・催事情報の入手先

ウ 展示に関する事項

全体の印象・展示別の印象・所見

(3) 調査対象者

個人、家族及びグループの入館者

(4) 調査方法

調査用紙は館内複数箇所に設置し、退館時にアンケート回収ボックスに投函するよう案内している。

(5) 集計事項

ア 「回答者の同伴者」

回答者の大半は家族連れでの来館であり、県博デーでは8割強が家族連れである。単独や友人と連れ立っての来館は、共に1割程度である。

イ 「回答者の住所」

宇都宮市在住の来館者が約5割である。県外からの来館者は1～2割である。

ウ 「回答者の入館回数」

「日々アンケート」および「県博デーアンケート」の回答者共に、4割弱は初めて来館された方である。

また、両アンケート共に5回以上が約3割で、リピーターの存在が示唆される。

エ 「回答者の催し物情報の入手先」

回答者の情報入手経路は多岐に渡っているが、「友人仲間家族」のいわゆる口コミや「偶然」がやや目立つ。県博デーでの「偶然」が高いのは、中央公園利用者が博物館コンサートなどのイベントに惹かれ来館した可能性がある。

オ 「回答者の全体に対する印象」

「日々アンケート」回答者の約9割、「県博デーアンケート」回答者の約9割が「すごくよかった」、「よかった」と回答している。「よかったもの」への回答から、スロープ展示など常設展示に対し約4～5割が「よかった」と感じている。

企画展やテーマ展については、「日々アンケート」に比べ「県博デーアンケート」の評価が低い。県博デーでは複数のイベントが開催されているため、評価が分かれている可能性がある。

		就学前	小学生	中学生	高校生以上の学生	学生以外(～40歳)	41-60歳	61歳以上	未記入	計	
性別	男	35	183	17	25	39	53	56	5	413	33.5%
	女	34	344	50	25	66	56	33	7	615	50.0%
	性別記入なし	45	75	10	1	17	31	21	3	203	16.5%
同伴者	家族	63	359	53	14	70	61	39	5	664	60.8%
	友人	0	89	13	9	11	4	6	3	135	12.4%
	団体	1	129	3	7	2	1	8	2	153	14.0%
	ひとり	2	4	3	17	23	42	48	1	140	12.8%
住所	宇都宮市内	52	291	35	22	39	43	46	8	536	50.0%
	宇都宮市外	8	196	20	14	42	31	25	1	337	31.4%
	県外	7	78	11	11	27	32	33	0	199	18.6%
来館回数	初めて	16	217	19	29	42	31	33	2	389	38.7%
	2～4回目	28	176	23	10	34	29	27	4	331	32.9%
	5回目以上	20	130	22	7	24	42	40	1	286	28.4%
情報入手経路	新聞・雑誌広報	6	29	5	3	6	15	31	1	96	8.8%
	テレビ・ラジオ広報	0	9	1	1	1	9	8	2	31	2.8%
	チラシ・ポスター	6	73	10	7	19	20	25	0	160	14.6%
	友人仲間家族	14	136	21	8	19	8	19	1	226	20.7%
	博物館HP	5	33	3	9	19	19	7	1	96	8.8%
	他HP、ブログ	4	13	3	3	8	6	3	0	40	3.7%
	偶然	20	119	21	16	29	26	13	0	244	22.3%
	その他	8	142	10	8	10	11	10	1	200	18.3%
全体の印象	すごくよかった	45	341	34	21	51	38	45	3	578	58.6%
	よかった	10	123	21	15	41	47	37	2	296	30.0%
	普通	5	35	9	9	6	14	5	1	84	8.5%
	悪かった	1	15	2	1	1	2	6	0	28	2.8%
よかったもの	スロープ	24	353	45	31	59	49	40	4	605	57.1%
	展示室1	21	294	38	28	45	45	36	3	510	48.2%
	展示室2	13	267	29	20	43	26	24	4	426	40.2%
	人文系企画展	3	66	13	8	23	29	43	0	185	17.5%
	人文系テーマ展	10	167	17	13	17	19	19	2	516	48.7%
	自然系企画展	10	122	12	8	16	15	12	1	196	18.5%
	自然系テーマ展	10	111	18	12	16	15	13	1	196	18.5%

※ 「よかったもの」の人文系企画展以下の割合は、開催期間中のアンケート回答数に基づく。

		就学前	小学生	中学生	高校生以上 上の学生	学生以外 (~40歳)	41-60歳	61歳以上	未記入	計	
性別	男	8	27	4	1	26	15	9	1	91	37.0%
	女	6	37	1	1	25	14	6	1	91	37.0%
	性別記入なし	27	12	3	0	8	9	5	0	64	26.0%
同伴者	家族	13	64	2	0	44	22	7	2	154	82.8%
	友人	0	0	3	1	5	0	2	0	11	5.9%
	団体	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0.5%
	ひとり	0	1	0	1	4	7	7	0	20	10.8%
住所	宇都宮市内	6	36	1	1	28	16	9	2	99	54.1%
	宇都宮市外	3	17	4	0	20	12	6	0	62	33.9%
	県外	2	9	0	1	6	2	2	0	22	12.0%
来館回数	初めて	3	27	3	1	22	6	3	0	65	35.5%
	2~4回目	6	19	1	0	17	11	6	2	62	33.9%
	5回目以上	2	18	0	1	16	11	8	0	56	30.6%
情報入手経路	新聞・雑誌広報	1	2	0	0	2	2	7	0	14	7.4%
	テレビ・ラジオ広報	0	1	0	0	1	0	1	0	3	1.6%
	チラシ・ポスター	1	12	1	1	7	5	3	0	30	15.9%
	友人仲間家族	0	15	3	1	12	3	0	0	34	18.0%
	博物館HP	2	11	1	0	4	7	2	0	27	14.3%
	他HP、ブログ	1	0	0	0	2	1	0	0	4	2.1%
	偶然	3	16	1	0	18	5	7	2	52	27.5%
	その他	4	9	0	0	8	4	0	0	25	13.2%
全体の印象	すごくよかった	5	30	2	2	14	7	4	0	64	42.7%
	よかった	2	19	2	0	26	13	10	2	74	49.3%
	普通	1	4	0	0	4	2	0	0	11	7.3%
	悪かった	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0.7%
よかったもの	スロープ	4	39	3	2	26	15	8	1	98	52.7%
	展示室1	3	38	4	1	31	10	6	1	94	50.5%
	展示室2	4	46	2	2	25	10	9	0	98	52.7%
	博物館コンサート	3	18	1	0	9	8	2	1	42	22.6%
	とっておき講座	1	13	1	0	3	2	0	0	20	10.8%
	クイズにチャレンジ	2	38	2	0	12	7	1	0	62	33.3%
	キッズツアー	1	15	0	0	5	1	1	0	23	12.4%
	和歌塗り絵	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0.5%
	電子顕微鏡	1	9	1	0	5	3	0	0	19	10.2%
	人文系企画展	0	3	2	1	4	3	2	0	15	8.1%
	人文系テーマ展	2	16	0	0	8	4	1	0	59	31.7%
	自然系企画展	2	7	1	0	7	3	1	0	21	11.3%
	自然系テーマ展	3	22	1	0	18	9	6	0	59	31.7%

※ 特別企画展開催中の10月、11月は県博デーイベントを実施せず。

※ 「よかったもの」の人文系企画展以下の割合は、開催期間中のアンケート回答数に基づく。

Ⅲ 予 算

1 平成29年度歳入状況

(単位：円)

科 目	調 定 額	収入済額	備 考
7 分担金及び負担金	113,848	113,848	
1 負担金	113,848	113,848	
2 民生費負担金	113,848	113,848	
社会保険料負担金	113,848	113,848	非常勤職員及び臨時補助員等の雇用保険料等
8 使用料及び手数料	15,421,909	15,421,909	
1 使用料	15,421,909	15,421,909	
2 民生使用料	15,421,909	15,421,909	
家屋使用料	486,669	486,669	レストラン
博物館使用料	14,935,240	14,935,240	観覧料(特別企画展入館料を含む)
10 財産収入	1,339,832	1,339,832	
1 財産運用収入	1,339,832	1,339,832	
1 財産貸付収入	1,339,832	1,339,832	
家屋貸付料	1,339,832	1,339,832	飲料自動販売機 太陽光発電屋根貸し使用料
14 諸収入	1,449,088	1,449,088	
7 雑入	1,449,088	1,449,088	
1 弁償金	454,474	454,474	
食費光熱水費等弁償金	454,474	454,474	レストラン等の電気・ガス・水道
4 雑入	994,614	994,614	
雑入	994,614	994,614	レストラン等の火災保険料相当、S-net情報提供料
計	18,324,677	18,324,677	

2 平成29年度歳出予算

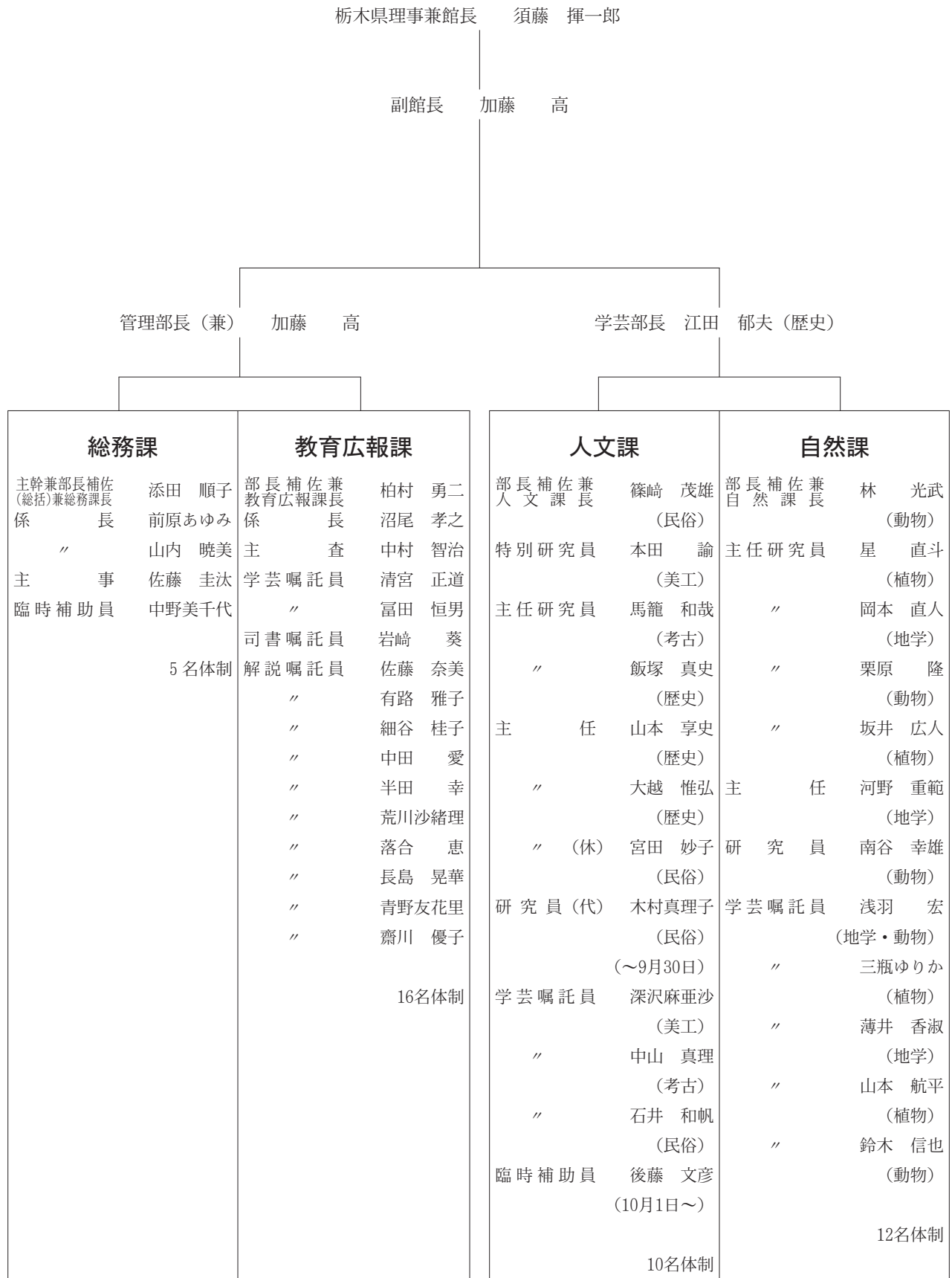
博物館費

(単位：千円)

事業名		予算額	摘要
博物館運営費	1. 管理運営費		
	(1)非常勤職員人件費	45,073	非常勤職員、各種委員会、臨時補助員に要する経費
	(2)施設管理費	39,090	電気、ガス、上下水道、ボイラー用重油、設備改修、管理用消耗品等
	(3)管理委託費	33,716	警備、清掃、設備保守委託等
	小計	117,879	
	2. 企画事業費		
	(1)普及教育経費	2,214	普及教育活動に要する講師謝礼、普及教育活動資材購入費等
	(2)調査研究費	3,275	調査研究活動に要する経費
	(3)企画展等開催費	8,440	企画展示の資料展示に伴う委託料、運搬費、保険料、負担金等の経費
	(4)移動博物館費	778	移動博物館の資料運搬等の経費
	(5)資料・図書購入費	1,374	博物館資料、備品の購入費
	(6)常設展示資料借入経費	286	常設展示の資料借用等に伴う謝金、運搬費、保険料等の経費
	(7)教材作成経費	471	資料、標本等の作製、修繕及び写真撮影等の経費
(8)文化プログラム推進事業	5,121	リーディングプロジェクト事業・企画展「とちぎの山・銚・屋台」に要する経費	
小計	21,959		
3. 特別企画展示費		28,807	35周年特別企画展開催に要する経費
4. 博物館整備費		18,469	ハロゲン化物消火剤貯蔵容器更新工事経費
計		187,114	

IV 組織・事務分掌

1 平成29年度栃木県立博物館の組織図



2 栃木県立博物館協議会委員名簿（任期：平成28年12月7日～平成30年12月6日）

（平成30年3月31日現在）

区分	氏名	性別	職業・役職	備考	区分	氏名	性別	職業・役職	備考
学 識 経 験 者	飯野 達央	男	元栃木県参事兼自然環境課長		社会 関係 教育	渡邊小百合	女	栃木県公民館連絡協議会理事 大田原市生涯学習課長兼中央公民館長	
	荻原恵美子	女	株式会社下野新聞社 編集局くらし文化部部長代理		家庭 教育 関係 者	揚石 哲司	男	栃木県PTA連合会副会長	
	鈴木 健一	男	宇都宮共和大学客員教授		学 校 教 育 関 係 者	上野 幸弘	男	栃木県子ども会連合会 副会長	
	大畑 英雄	男	下野手仕事会 大畑武者絵資料館長			上野 憲示	男	栃木県私立中学高等学校連合会 学校法人宇都宮学園理事長	
	小菅 一弥	男	栃木県町村会・壬生町長			日向野 勝	男	栃木県高等学校長会 栃木県立宇都宮中央女子高等学校長	
	佐藤 峰子	女	ボランティア連絡協議会		樽井 圭子	女	栃木県小学校長会 宇都宮市立五代小学校長		
	塩田ひとし	男	栃木県議会議員		山本 伸夫	男	栃木県中学校長会 宇都宮市立若松原中学校長		
	広瀬 寿雄	男	栃木県市長会・下野市長		公募	藤本由利子	女		
	松本 春枝	女	NHK宇都宮放送局長						

3 栃木県立博物館調査研究協力員名簿

(1) 人文部門

①縄文時代の土器に関する調査研究（考古）

No.	氏名	所属	役職名
1	中村 信博	栃木県考古学会	会 員

②中世下野の社会に関する調査研究（歴史）

No.	氏名	所属	役職名
1	千田 孝明	観音寺	住 職

③近世下野に関する調査研究（歴史）

No.	氏名	所属	役職名
1	鷺谷 政信	青雲堂刀剣舗	常 任 委 員
2	重藤 智彬	栃木県歴史文化研究会	

④中近世の美術工芸資料に関する調査研究（美術工芸）

No.	氏名	所属	役職名
1	北口 英雄	小杉放菴記念日光美術館	顧 問
2	萩原 哉	武蔵野美術大学	非 常 勤 講 師
3	大澤 慶子	文星芸術大学	准 教 授
4	寺門 泰三	泰清堂	代 表
5	高橋 久敬	日本古鐘研究会	会 員
6	浦野 潔	羅漢工房	代 表

⑤那珂川の漁撈用具に関する調査研究（民俗）

No.	氏名	所属	役職名
1	柏村 祐司	栃木県立博物館	名 誉 学 芸 員

⑥栃木の山・鉾に関する調査研究（民俗）

No.	氏名	所属	役職名
1	池田 貞夫	宇都宮伝統文化連絡協議会	会 長
2	黒崎 孝雄	宇都宮伝統文化連絡協議会	会 員

⑦栃木の弥生・古墳時代に関する調査研究（考古）

No.	氏名	所属	役職名
1	川又隆一郎	栃木県考古学会	会 員

(2) 自然部門

①日光の自然総合学術調査

No.	氏名	所属	役職名
1	神山 隆之	今市の自然を知る会	会 員
2	長谷川順一	栃木県植物研究会	会 員
3	田代 俊夫	栃木県植物同好会	幹 事
4	野口 達也	日本植物分類学会	会 員
5	江連 俊一	栃木県きのこ同好会	会 員
6	小林 幹夫	宇都宮大学	名 誉 教 授
7	宮本 龍夫	とちぎ昆虫愛好会	会 員
8	佐藤 光一	とちぎ昆虫愛好会	会 員
9	大川 秀雄	とちぎ昆虫愛好会	幹 事

②県内脊椎動物の形態等の変異に関する研究

No.	氏名	所属	役職名
1	上條さち子	日本哺乳類学会	会 員

③栃木の維管束植物相調査

No.	氏名	所属	役職名
1	田代 俊夫	栃木県植物同好会	幹 事
2	長谷川順一	栃木県植物研究会	会 員
3	神山 隆之	今市の自然を知る会	会 員
4	野口 達也	日本植物分類学会	会 員
5	小林 幹夫	宇都宮大学	名 誉 教 授
6	中池 敏之	日本植物学会	会 員
7	小倉 洋志	日本植物分類学会	会 員

④栃木県の昆虫相調査

No.	氏名	所属	役職名
1	田中 清貴	とちぎ昆虫愛好会	幹 事
2	小林 教太	とちぎ昆虫愛好会	会 員
3	片山 栄助	とちぎ昆虫愛好会	会 員
4	中山 恒友	とちぎ昆虫愛好会	幹 事
5	村上 哲治	とちぎ昆虫愛好会	幹 事

⑤栃木県産菌類調査

No.	氏名	所属	役職名
1	野澤 純一	日本菌学会	会 員

⑥栃木県に分布する新第三系の研究

No.	氏名	所属	役職名
1	興野 喜宣	鉾物同志会	会 員
2	青島 睦治	栃木地学愛好会	顧 問
3	松居誠一郎	宇都宮大学教育学部	教 授

⑦栃木県産両生爬虫類調査

No.	氏名	所属	役職名
1	木村 有紀	日本爬虫両棲類学会	会 員

⑧無脊椎動物相の調査

No.	氏名	所属	役職名
1	古野 勝久	日本土壤動物学会	会 員

4 栃木県立博物館ボランティア

(1) 人文部門活動内容

- ①テーマ展「おじいさんやおばあさんの子どもころの暮らし」体験コーナーの補助
- ②人文系の展示・講演会・講座などのサポート
- ③民具の整理

(2) 自然部門活動内容

- ①両生類・爬虫類の分布・生態調査
- ②無脊椎動物（カタツムリ、エビ・カニ、ミミズ）の分布調査
- ③化石クリーニング
- ④自然系の展示・講演会・講座などのサポート

(3) 教育広報部門活動内容

- ①情報収集（新聞記事等の切り抜き整理）
- ②学校移動博物館展示及び撤去作業
- ③発送作業補助
- ④県博デークイズにチャレンジ補助
- ⑤体験学習準備及び活動補助

V 利用案内

☆交通案内

JR宇都宮駅西口から

○関東バス市内線

37 桜通り経由鶴田駅行または同經由西川田駅行で「中央公園博物館前」下車、徒歩8分。

○関東バス郡部線

43 長坂経由鹿沼営業所行で「文星芸術大学附属中高」下車、徒歩10分。

東武宇都宮駅から

○市内大通りの関東バス「東武駅前」バス停で上記バスに乗車。

○徒歩30分

鹿沼方面から

○関東バス鹿沼営業所発宇都宮駅行で「睦町」下車、徒歩10分。

日光、鬼怒川方面から

○関東バス宇都宮駅行で「桜通り十文字」下車、徒歩18分で公園正面へ。

☆開館時間 午前9時30分から午後5時まで
(入館は午後4時30分まで)

☆休館日 月曜日(祝日・休日を除く)、
祝日・振替休日の翌日(土曜日・日曜日
を除く)、定期消毒(6月下旬～7月上旬)、
年末年始(12月28日～1月4日)、
臨時休館日

☆観覧料金 一般250円(200円)、大学生・高校生120円
(100円)、中学生以下無料。

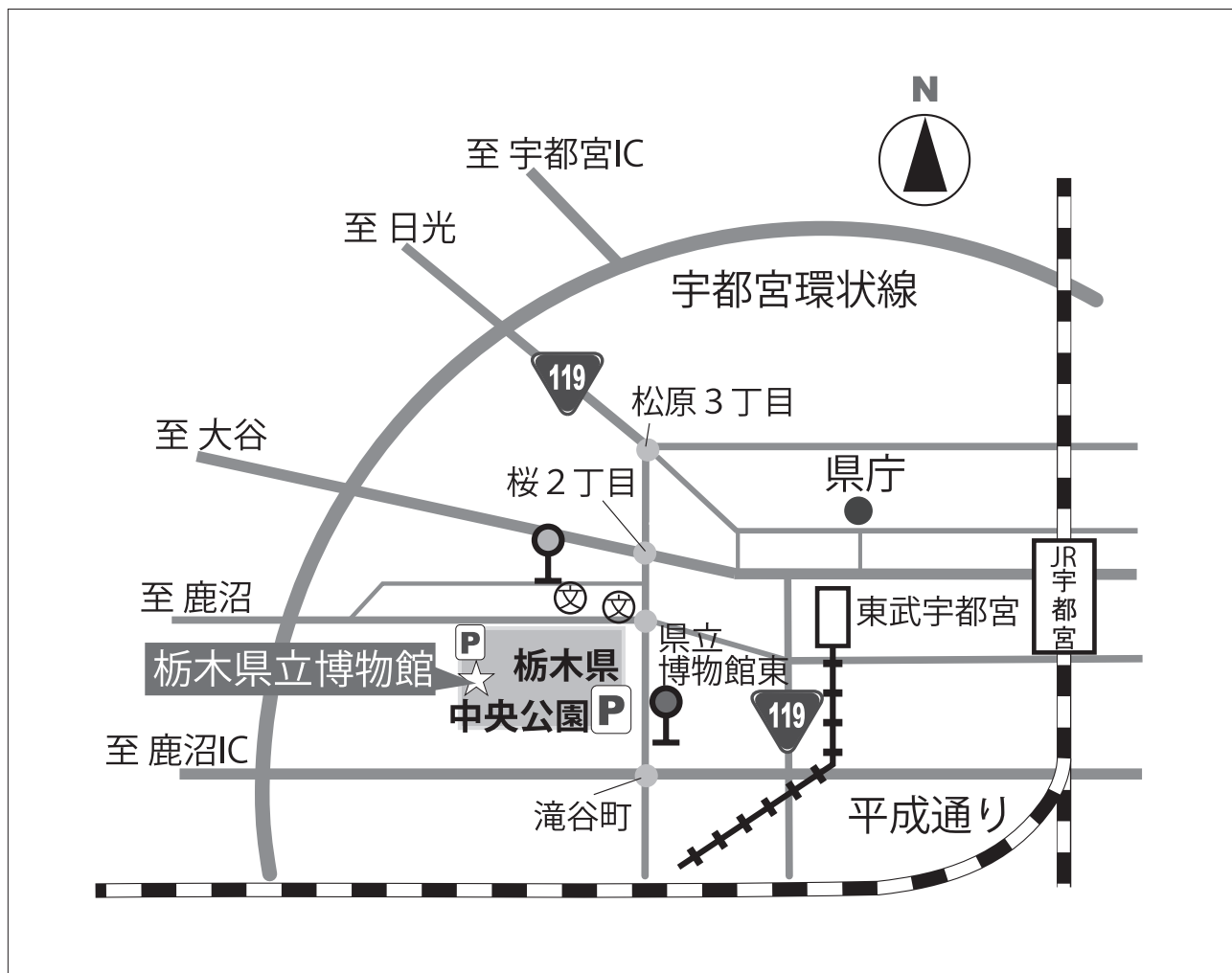
()内は20名以上の団体料金。

M割(ミュージアム割引)について

※入館から6ヶ月以内の当館もしくは
M割参加館の半券をもって来館すると、
団体割引料金で入館できます。

(半券1枚につき1回限り有効)

6月の第2土曜日及びその翌日・6月15日
(県民の日)、11月3日(文化の日)は無料。



☆観覧料免除について

次の場合、観覧料が免除されます。

- (1) 小学校、中学校、高等学校、大学等において、その学校の教育課程に基づく教育活動として観覧する場合
- (2) 県の主催する「県の施設を見る県民バス」等による観覧
- (3) 社会福祉施設がその施設の入所者に対して行う行事としての観覧
- (4) 国及び地方公共団体等が行う職員研修の一環として観覧する場合又は公民館等社会教育施設が行う教育活動の一環として観覧する場合

☆観覧料の免除申請について

上記の観覧料免除に該当する場合は、博物館所定の観覧料等免除申請書（ホームページからダウンロード可）に必要事項を記入して、観覧日の2週間前までに到着するように送付してください。

☆観覧について

- 1 館内の観覧所要時間としては、展示の全てを通覧する場合は約1.5時間～2時間を見込んでください。
- 2 観覧の順路は、一般通覧の場合、スロープ展示→展示室1 地質時代の栃木、太古の暮らし、古墳文化と下野国、中世の下野、江戸時代の下野、近代日本と栃木県、現代栃木の軌跡→展示室2 テーマ展示（開催中の場合）雑木林の生きもの、水辺の生きもの、岩石、鉱物、化石、菌類、植物、動物、企画展示（開催中の場合）となりますが、必要に応じて重点的に観覧していただいて結構です。
また、混雑の状況によっては適宜観覧順序を変えてください。
- 3 展示室等に制服の解説嘱託員がおり、解説や質問に応じますのでご利用ください。また、気分がわるくなったり困ったことがありましたらお申し出ください。

☆施設、設備について

- 1 受付案内：1階エントランスホールにあります。
- 2 トイレ：1階に2ヶ所（講堂への通路、スロープ展示の下、障害者用トイレあり）
2階に2ヶ所（展示室2入口右側奥、レストラン）にあります。
- 3 手荷物ロッカー：正面から講堂に至る通路にあります。（返金式）
- 4 車椅子・ベビーカー・杖：エントランスホールにあります。
- 5 ベビーベッド（おむつ替え用）が各階に、授乳室（保健室）は1階にあります。
- 6 記念スタンプ：1階トイレ前（スロープ展示の下）

- 7 ミュージアムショップ：1階エントランスホールにあります。
- 8 レストラン：2階、講堂の真上部分にあり、すばらしい眺望です。
- 9 自動販売機：玄関ポーチと2階レストラン入口に飲み物の販売機があります。
- 10 AED（自動体外式除細動器）：館内受付横に備えてあります。

☆お願い

- 1 館内では、他の観覧者の妨げにならぬよう配慮をお願いします。
- 2 写真撮影が禁止されている場所がありますのでご注意ください。
本格的な模写・写真撮影・団体の記念撮影などは、事前に許可を得てください。
- 3 飲食は指定された場所をお願いします。
- 4 団体観覧の場合は、引率者の責任において他の迷惑にならぬようご指導ください。
- 5 大型バス等で来館される際には、前もってご連絡ください。
- 6 動物（ペットなど）の持ち込みはご遠慮ください。
- 7 そのほか、博物館職員や警備員の指示に従ってください。
- 8 館内は禁煙です。

栃木県立博物館年報(第36号)

平成30年7月31日 発行

編集・発行 栃木県立博物館
〒320-0865 栃木県宇都宮市睦町2-2
TEL 028(634)1311(代)

印刷 下野印刷株式会社

ISBN 978-4-88758-098-5